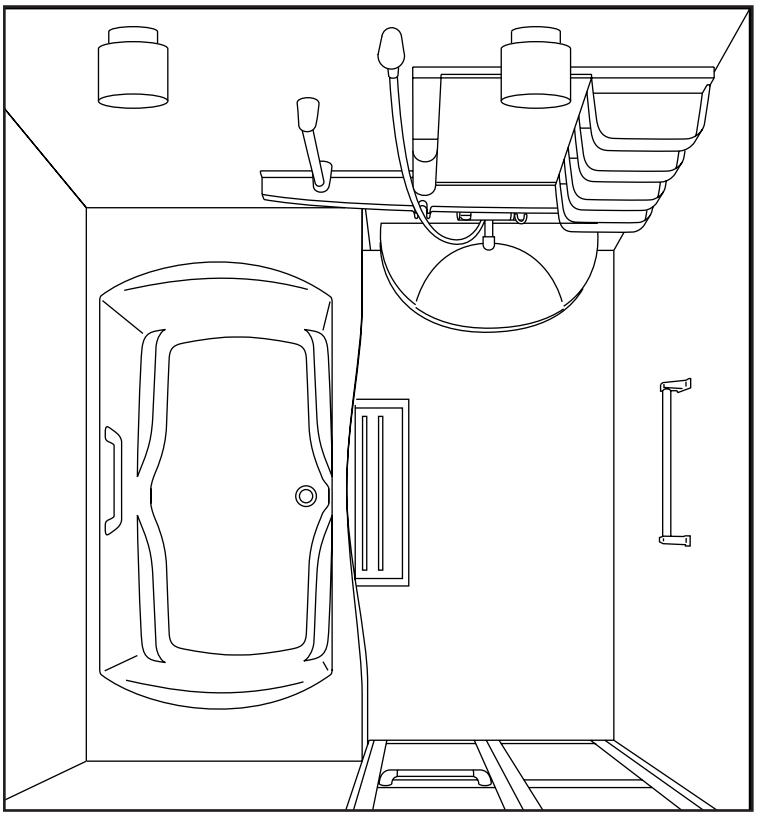
INAX

システムバスルーム

いいばすびゅーばすシリーズ

取扱説明書

BYDB-1616 CBEM, CBEL, LBPM, LBPL
1216 CBEM, CBEL, LBPM, LBPL
BYFB-1616 CBEM, CBEL, LBPM, LBPL
1216 CBEM, CBEL, LBPM, LBPL



この度は当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。

このシステムバスルームを美しく、また快適にご愛用いただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

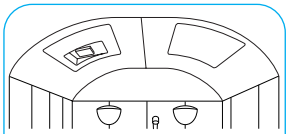
※ 品番シールは、浴室ドア枠上部に貼っています。
※ この取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところに保管してください。
※ 転居される場合、次に入居される方に、この取扱説明書をお渡しください。
※ イデアトーン、エセンヌ以外の浴槽では、浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器は使用しないでください。
エセンヌで浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器を使用する場合は、殺菌方式を確認してください。
オゾン殺菌方式の機器は浴槽以外の部位についても劣化を促進させることがありますので、使用しないでください。

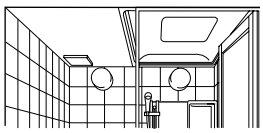
もくじ

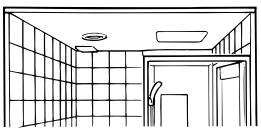
各部のなまえ……1
安全上のご注意……4
使用時のご注意……8
ご使用方法
排水栓を閉じる……11
洗い場でお湯を使う……12
浴槽にお湯をためる……14
ドアの施錠・解錠と取外し方・取付け方……15
オプション機能
風呂フタの使い方……19
換気扇の使い方……19
浴室暖房機の使い方……20
換気乾燥暖房システムの使い方……21
換気乾燥暖房システム・2室暖房タイプ（洗面室暖房機部分）の使い方…22
温水式換気乾燥暖房機の使い方……23
ランドリーパイプの取付け方……24
アクアジェットの使い方……24
ヒーリングライトの使い方……25
お掃除シャワーの使い方……28
手元シャワーフックの使い方……28
スイッチ付ＣＣ（塩素除去）シャワーの使い方……29
スイッチ付マッサージシャワーの使い方……30
フェイスライトの使い方……31
くもり止め機能付ミラーの使い方……32
即湯システムの使い方……32
お手入れ方法
入浴後のお手入れ・日頃のお手入れ……33
週１回程度のお手入れ……35
念入りなお手入れ……37
長くお使いいただくために
シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら……41
照明用電球・蛍光灯の交換……43
交換部品のご案内……47
冬期凍結のおそれがある場合……49
故障かな？と思ったら……50
アフターサービスについて……54
品番を調べる……57
廃棄について……58

各部のなまえ

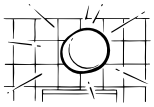
天　井

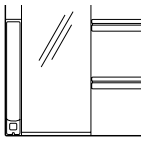

ハイドーム天井


ドーム天井

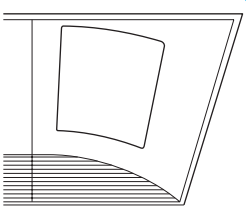

平天井

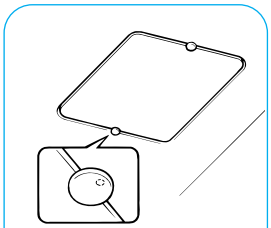
照明器具

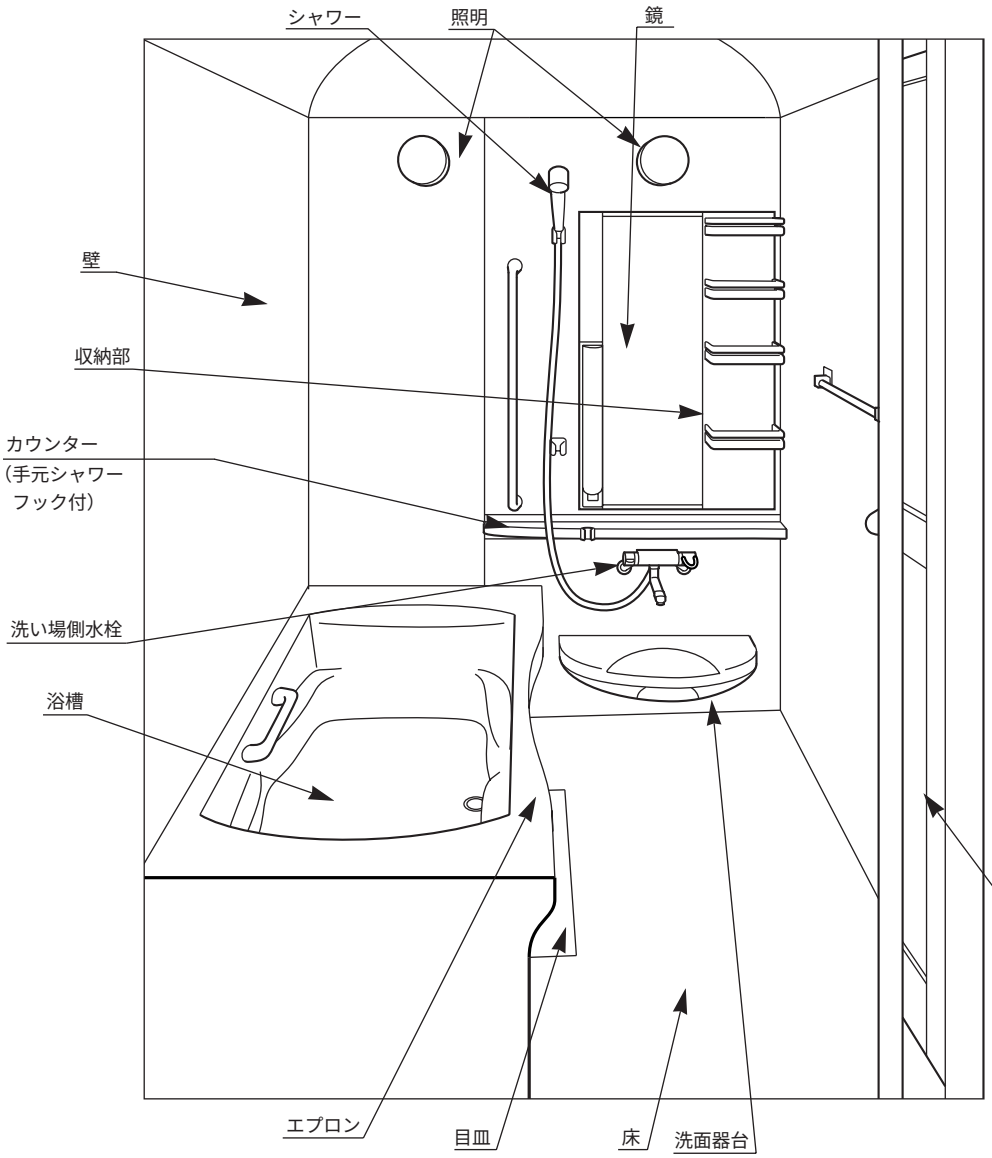

白熱灯

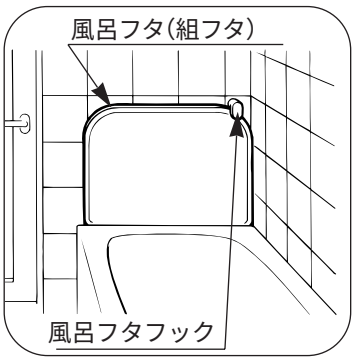

フェイスライト

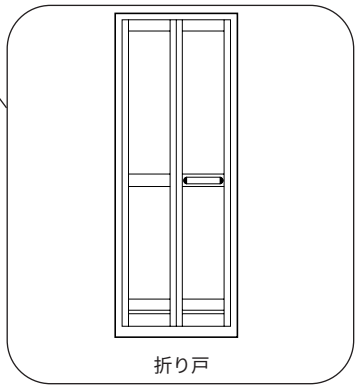
点検口


ハイドーム天井点検口


天井点検口






折り戸

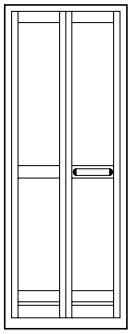
※ご使用いただくシステムバスルームは上記イラストと異なる場合があります。

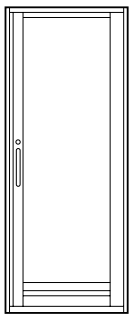
⚠ 注意

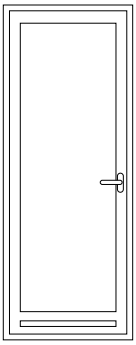
点検口は電気配線や配管関係などに異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身で開けたり、天井裏に物などを置かないでください。
※ **火災・感電や漏水の原因**となります。

ドア

高級折り戸


折り戸


片引き戸

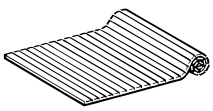

開き戸

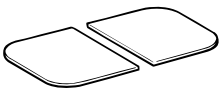
プッシュワンウェイ排水栓

内蔵型

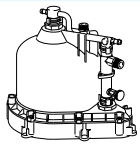
外付型

風呂フタ

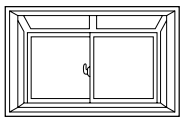

巻フタ

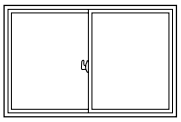

組フタ

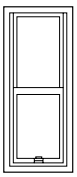
即湯システム（オプション）

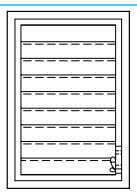

即湯システム

窓（オプション）

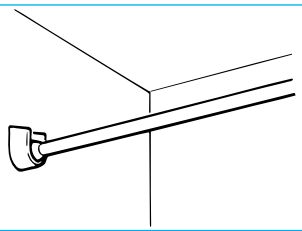

出窓


引き違い窓

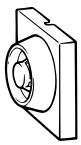

上下昇降窓

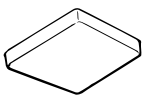

可動ルーバー窓

ランドリーパイプ（オプション）

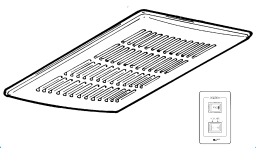


換気扇（オプション）


壁付換気扇


天井換気扇

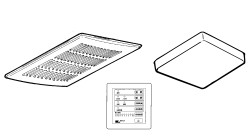
浴室暖房機（オプション）

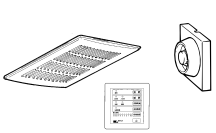


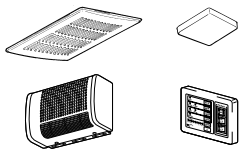
温水式換気乾燥暖房機（オプション）

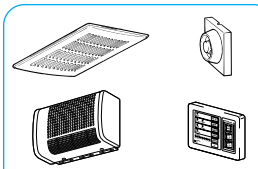
換気扇内蔵型

換気乾燥暖房システム（オプション）

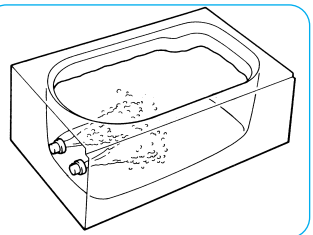

天井換気扇セット


壁付換気扇セット

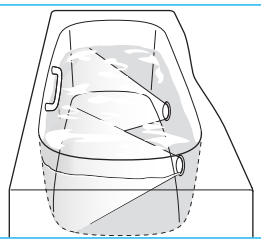

2室暖房タイプ天井換気扇セット


2室暖房タイプ壁付換気扇セット

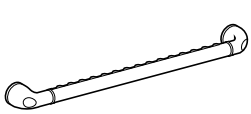
アクアジェット（オプション）



ヒーリングライト（オプション）

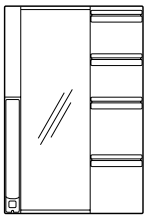


握りバー（オプション）

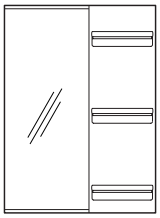


浴槽内握りバー

収　納　部



フェイスライト付収納
＋くもり止めミラー



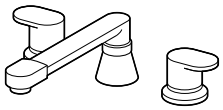
収納ラック

棚板

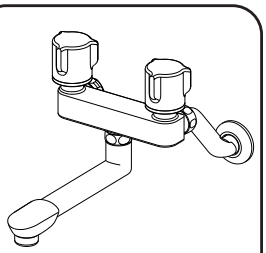
水栓金具の種類

●浴槽側水栓

ツーハンドル水栓（オプション）



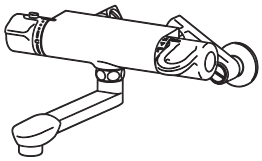
アステシア



アステシア

●洗い場側水栓

サーモスタット付水栓



アステシア

●シャワーヘッド

シャワーヘッド

スイッチ付CC(塩素除去)シャワー

スプレーシャワー
※イラストはスイッチ付（オプション）です

スイッチ付マッサージシャワー

お掃除シャワー（オプション）

お掃除シャワー

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」および付帯する設備機器の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ **警告** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ **注意** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

……「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

風呂フタについての警告

風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上に体重をかけたり、乗らないでください。

※フタが外れたりして、**ケガやヤケドをするおそれ**があります。

水栓金具や換気扇等の取扱いについての警告

水栓金具や換気扇等の付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、および本体の注意表示に従ってお使いください。

※誤った使い方をすると、**思わぬ事故や故障のおそれ**があります。

アクアジェットご使用時の警告

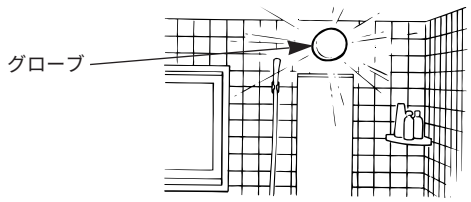
・安全カバーが外れたり破損したままで使用しないでください。
・使用するときは、吸込口や噴射口をふさがないでください。
・浴槽内にもぐらないでください。
・子供だけで、入浴中の場合は運転させないでください。

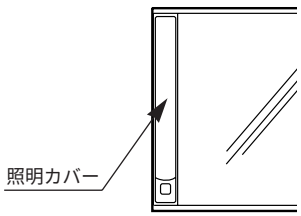
※髪や身体の一部が吸い込まれて、**おぼれたりケガをするおそれ**があります。

照明や換気扇についての警告

照明器具や換気扇等の電気製品は、グローブやルーバー等のカバーを外して使用したり、直接水をかけないでください。

※**火災や感電・故障したり、電球が割れてケガをするおそれ**があります。





照明器具にタオルなどをかけないでください。

※**過熱して火災になるおそれ**があります。

換気扇等のお手入れや、電球を交換する場合は必ず電源（スイッチ）を切ってから行ってください。

※**感電やケガをするおそれ**があります。

排水栓についての警告

浴槽排水栓は、きちんと閉まっていることを確認してください。
お手入れ等で排水栓を取外した時はカチンと音がするまではめ込んでください。
（P.36参照）

※追いだき機器をご使用の場合、漏水により空だきとなり、**火災のおそれ**があります。

⚠注意

ケガに注意!!

暖房機や換気扇の運転は、ルーバーを外してファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。
※**感電やケガ・故障のおそれ**があります。

浴槽に飛び降りたりして、無理な力をくわえないでください。
※浴槽が破損して**ケガをしたり、濡水するおそれ**があります。

浴室内は石けん液などですべりやすくなっています。ゆっくりとした動作を心がけてください。
※転んで**ケガをするおそれ**があります。

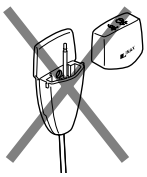
鏡に熱湯や冷水をかけないでください。
※急激な温度変化は鏡破損の原因となり、**ケガをするおそれ**があります。

点検口は設備点検時以外は開けたり、中に物などを置かないでください。
※**火災・感電や漏水**、またフタが外れ、落下して**ケガをするおそれ**があります。

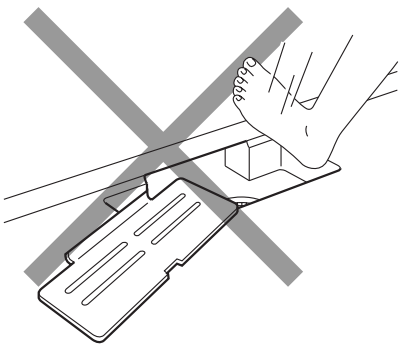
ものをぶつけるなど、鏡や壁への衝撃はお避けください。
※表面が傷ついたり、割れて**ケガをするおそれ**があります。

浴槽やカウンター、洗面器台の上に乗って、掃除や電球交換をしないでください。
※不安定な作業になりますので、転倒して**ケガをするおそれ**があります。

外付型プッシュワンウェイ排水栓のボタン部を分解したまま使用しないでください。
※突起部分で**ケガをするおそれ**があります。



目皿を外したまま、きちんとはめ込まないで使用しないでください。
※足を踏み外して、**ケガをするおそれ**があります。



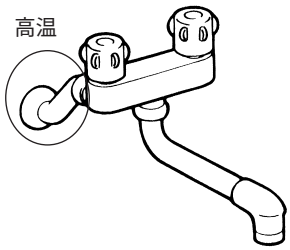
自分で取り付けないで!!

ご自分で壁に穴をあけて､握りバーやタオル掛け等を取り付けないでください。
※**タイルや壁材が割れたり、漏水の原因**となります。

ヤケドに注意!!

風呂フタは必ず浴槽に合ったものをお使いください。
※フタが外れて、**ケガやヤケドをするおそれ**があります。

水栓の左側の取付脚は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※**ヤケドをするおそれ**があります。



溶剤、薬品に注意

排水口にシンナー等の溶剤や薬品類を流し込まないでください。
※**漏水の原因**となります。

使用時のご注意

故障をおこさないためにお守りください

無理な力を加えないで!!

重いものや硬いものを落さないでください。
※**キズの原因**となります。

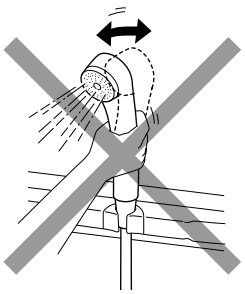
水栓吐水口を上下に動かしたり、無理な力を加えないでください。
※**漏水の原因**となります。

窓枠の上に植木ばちなどの重いものを置かないでください。
※**破損や漏水の原因**となります。

外付型プッシュワンウェイ排水栓のレリースを強い力で引っ張ったり折り曲げたりしないでください。
※**故障する原因**となります。

排水栓が開いた状態で栓の上に乗ったり、栓に荷重がかかった状態で、排水栓開閉ボタンを無理に押さないでください。
※**排水栓が破損し作動不能及び、漏水する原因**となります。

タオル掛けやシャワーフック、手元シャワーフック、ランドリーパイプなどに無理な力を加えないでください。
※**破損や漏水の原因**となります。



洗面器台やカウンターに乗ったり、すわったりしないでください。
※**破損や漏水する原因**となります。

おそうじのときは!!

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸、アンモニア、苛性ソーダなどの薬品や漂白剤は使用しないでください。
※ **キズ、変色等の原因**になります。
また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでお止めください。

ドアに直接水をかけないでください。
※浴室外に水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。

お手入れ等で、排水トラップのストレーナーやバス排水パイプを取り外した後は、きちんとはめ込んでから、使用してください。
※**排水管のツマリや悪臭の原因**になります。

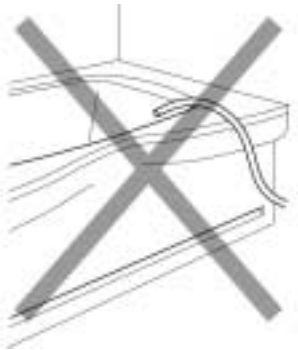
浴槽内の注意!!

アクアジェット付の浴槽では、浴槽内で石ケン・ボディシャンプー類を使用しないでください。
※多量の泡が発生するとともに**故障の原因**となります。

入浴剤や、温泉水、自家製の井戸水を使用しないでください。
※**浴槽表面の変色や機能部の故障の原因**となります。

イデアトーン浴槽は必ず専用の風呂フタを使用してください。
※フタの素材によっては、**浴槽を傷める原因**となります。

イデアトーン浴槽の上にビニールホース等樹脂製品を長時間置かないでください。
※塩ビ、ゴム等、材質によっては**浴槽を傷める原因**となります。



イデアトーン浴槽の場合は、入浴中以外はシャワーホースを上方のシャワーフックにかけてください。
※ホースが長時間浴槽に触れていると、**浴槽表面を傷める原因**となります。

金属類を放置しないで!!

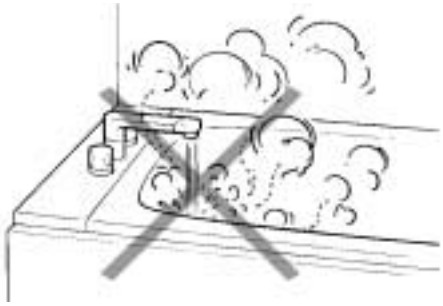
ヘアピン・カミソリの刃等をカウンターに放置しないでください。
※**サビが付着して取れなくなる場合**があります。

火を近づけないで!!

タバコなどの火気を近づけないでください。
※**キズ・ヒビ割れの原因**となります。

熱湯に気をつけて!!

お湯は温度を調節して給湯してください。
※直接熱湯（80℃以上）を入れたり、お湯を沸かしすぎますと**浴槽や排水金具を傷めたり、寿命を短くする原因**となります。



入浴剤の使用について

溶剤の入った液体入浴剤を使用しないでください。
※パッキンや目地材を傷め、**漏水の原因**となります。

浴槽浄化保温機について

アクアジェット・ヒーリングライトをご使用の場合や、イデアトーン、エセンヌ以外の浴槽では浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器は使用しないでください。
※**機能部の故障や配管の腐食、浴槽表面の荒れ・退色等を著しく促進する場合**があります。

化粧品の使用について

浴室内に毛染め剤やマニキュア除光液等が付着した場合は、ただちにふき取ってください。
※長時間放置すると**シミになる場合**があります。

継目のキズに気をつけて!!

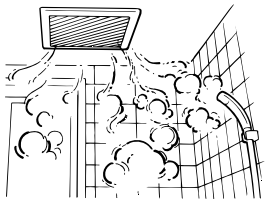
床・壁・天井・窓枠等の継目部分には、漏水を防ぐため目地材（または、コーキング材）がうたれています。はぎ取ったり、キズつけないでください。
※**漏水の原因**となります。

注）イデアトーン浴槽とはマーブル調および石目調の浴槽です。

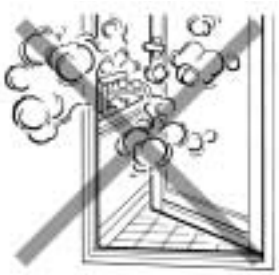
換気などに注意!!

暖房機や換気扇の吸込口をタオルなどでフタをしないでください。
※**故障の原因**となります。

入浴後は窓を開けたり、換気扇を使用するなど、浴室にこもった蒸気を屋外へ排出してください。
※浴室にこもった蒸気は、**悪臭やカビの発生原因**となります。
※換気扇を使用する場合は、窓やドアを開けないでください。**十分な換気ができません。**

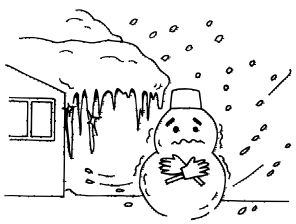


入浴中や貯湯、入浴直後は浴室のドアを必ず閉めてください。
※浴室外に蒸気や水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。
※ドアがきちんと閉まった状態でも、シャワーなどで勢いよくドアの隙間に散水すると外へ漏れることがあります。また蒸気や光につきましても完全に遮蔽する構造ではありません。

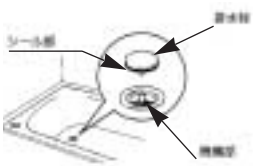


凍結に注意

水栓、アクアジェット付の浴槽、即湯システムで、凍結のおそれがある場合は、各取扱説明書に従って必ず水抜きをしてください。
温水式換気乾燥暖房機、熱源機共に電源を切らないでください。（詳しくは熱源機の取扱説明書をご覧ください。）
※**破損や故障の原因**となります。



冬期に排水栓のシール部や機構部の水が凍結した状態で排水栓開閉ボタンを無理に押さないでください
※**破損の原因**となります。



凍結のためにボタンを押しても排水栓が開閉しない場合は、排水栓に40℃以下の温水をかけ、解凍した上でご使用ください。

KILAMIC抗菌仕様商品についてのご注意

・KILAMIC抗菌仕様商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ、油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては充分な抗菌効果を発揮できません。
・KILAMIC抗菌仕様商品は菌の繁殖を抑制する効果は持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品を感染防止を目的として使用しないでください。

洗い場床について

床表面は滑りにくいよう微細な凹凸のある岩肌調にしております。そのため一部に水滴が残り、乾燥に時間がかかる（場合によっては1日以上）ことがあります。

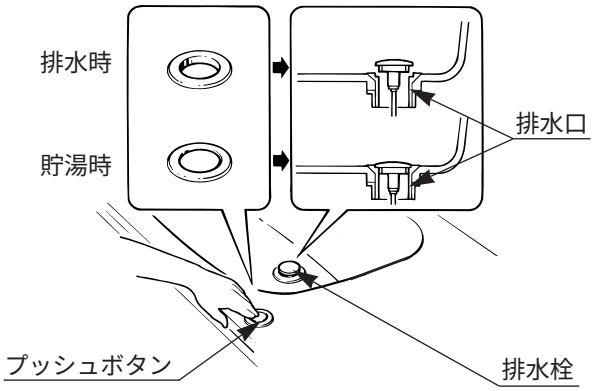
ご使用方法

排水栓を閉じる

ワンポイント 洗い場では、高さ30cm程度の風呂イスをご使用することをおすすめします。

内蔵型プッシュワンウェイ排水栓の場合

プッシュボタンを押して、排水栓の開閉を行います。



1 浴槽へお湯をためる時

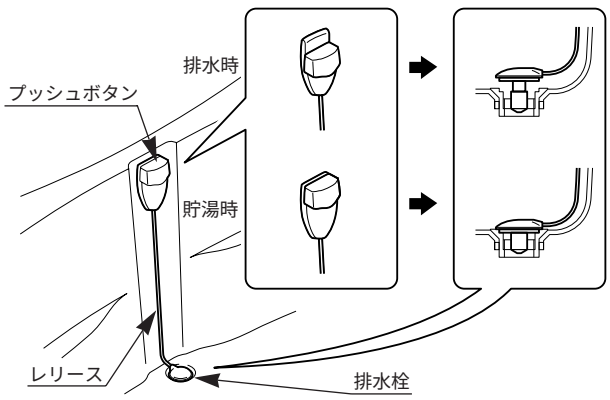
プッシュボタンが上がった状態にします。
プッシュボタンが下がっている場合は、
プッシュボタンを押すと、上がった状態に
なります。

2 排水する時

プッシュボタンが下がった状態にします。プッシュボタンが上がっている場合は、
プッシュボタンを押すと、下がった状態になります。

外付型プッシュワンウェイ排水栓の場合

プッシュボタンを押して、排水栓の開閉を行います。



1 浴槽へお湯をためる時

プッシュボタンが上がった状態にします。
プッシュボタンが下がっている場合は、
プッシュボタンを押すと、上がった状態に
なります。

2 排水する時

プッシュボタンが下がった状態にします。プッシュボタンが上がっている場合は、
プッシュボタンを押すと、下がった状態になります。

⚠ 注意

排水栓レリースに足を引っ掛けて外さないように注意してください。

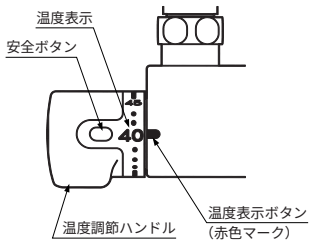
洗い場でお湯を使う

洗い場側水栓（埋込式サーモスタット付水栓）

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

1 温度の調節

温度調節ハンドルの目盛は吐水温度を示しています。これを目安として、希望温度目盛をマーク（赤色）に合わせます。

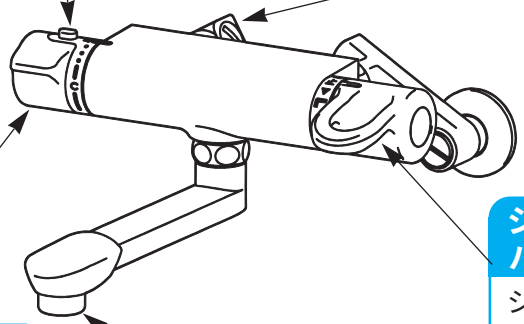


ワンポイント

温度目盛の上限は「45」で、約45℃以上のお湯はできません。
高温側に回すと安全ボタンの働きで一度温度調節ボタンが止まります。40℃以上の吐水温度が必要なときは、安全ボタンを押しながら回してください。

安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。



取付脚（給湯側）

シャワー・バス切替ハンドル

シャワーと吐水口の切替えとお湯を止めます。

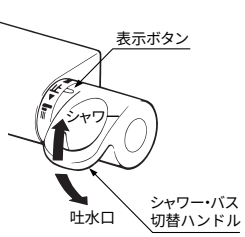
温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。

自在吐水口

2 吐水口、シャワーの切替え

シャワー・バス切替ハンドルの表示ボタンと本体側の表示リングの「止」マークが合っているときが止水位置です。シャワー使用のときは、シャワー・バス切替ハンドルを上に回してください。吐水口使用のときはシャワー・バス切替ハンドルを下に回してください。



⚠注意

●水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。

●水栓の左側の取付脚は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※**ヤケドをするおそれ**があります。

●ハンドル操作の急閉止はおやめください。
※配管から漏水をおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

もしもこんなとき

給湯器の設定温度が低温（40℃前後）の場合、水栓から吐水される湯温は、表示温度より低くなります。このような場合は、給湯器の設定温度を50℃以上にするか、水栓付属の取扱説明書をご覧の上、水栓の温度調節を行ってください。
※（株）INAXメンテナンスにご依頼いただければ、調整にお伺いします。（有料）

浴槽にお湯をためる

ツーハンドル水栓（1616の場合）（オプション）

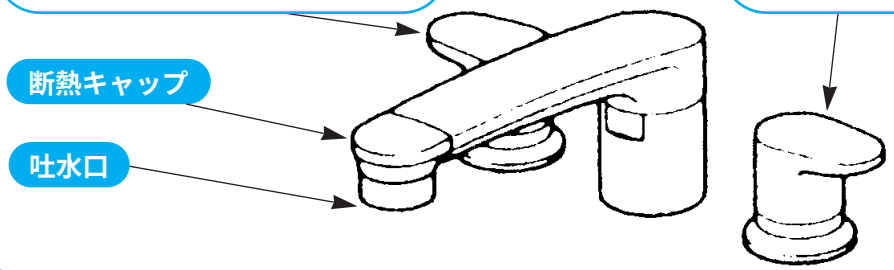
詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。また、自動湯張りの給湯機器がついている場合は、給湯機器の取扱説明書をご覧ください。

① 水側ハンドルを回します。

② 湯側ハンドルを回し、適温にします。

湯側ハンドル
お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

水側ハンドル
水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。



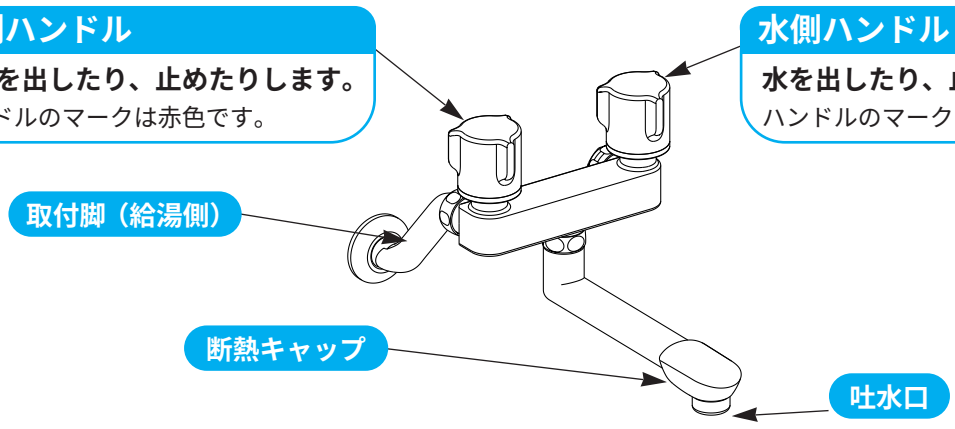
ツーハンドル水栓（1216の場合）（オプション）

① 水側ハンドルを回します。

② 湯側ハンドルを回し、適温にします。

湯側ハンドル
お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

水側ハンドル
水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。



⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  また、止める際は湯側ハンドルから先に閉めてください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- 水栓の左側の取付脚は給湯側のため高温になっています。
  金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
  ※**ヤケドをするおそれ**があります。

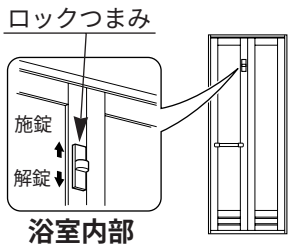
ドアの施錠・解錠と取外し方・取付け方

折り戸の施錠・解錠

浴室ユニットをご使用の前に、ドアを開けたままで解錠が可能が確認してください。万一解錠ができない場合は購入先へ連絡してください。

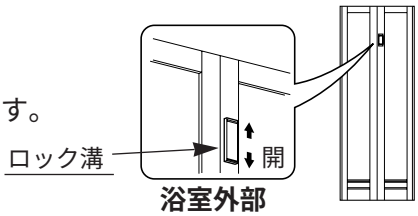
1 浴室内側からの施錠・解錠

施錠はドア上側にあるロックつまみを上げます。
解錠はロックつまみを降ろします。



2 浴室外側からの解錠（非常時）

非常時に浴室外から解錠するときは、
ロックつまみを降ろします。
施錠スイッチが解錠となり、ドアを開けることができます。

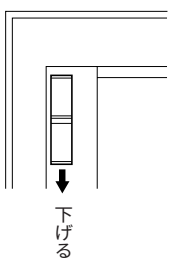


折り戸の取外し方・取付け方

浴室内で人が倒れる等によりドアが開かなくなった場合には、以下の要領で救助作業を行ってください。

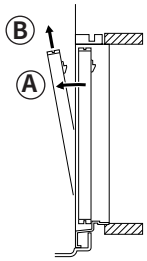
1

扉上部のツマミを下げます。



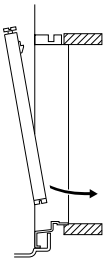
2

扉上部を浴室側に傾けます。Ⓐ
扉を上方へ持ち上げます。Ⓑ

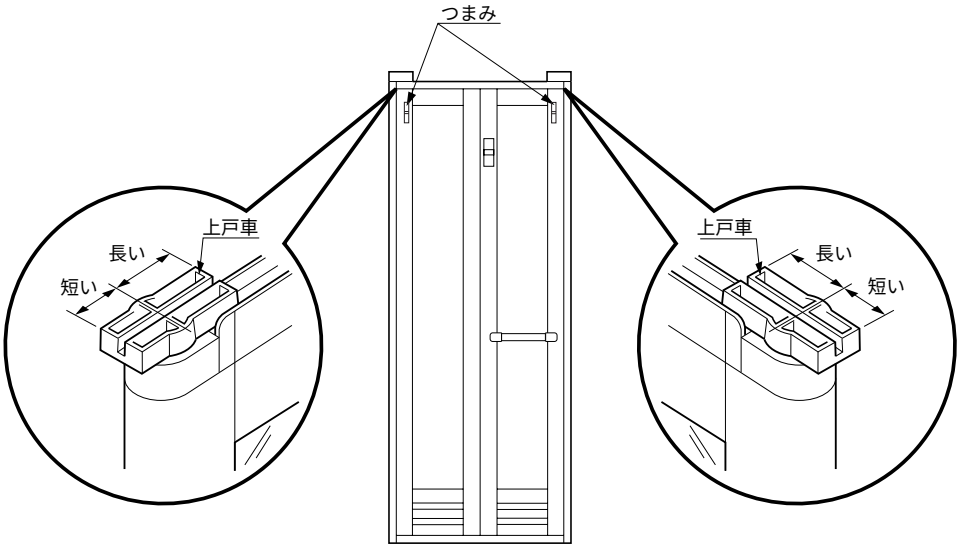


3

扉を折り曲げたまま、
脱衣室側に取り出します。

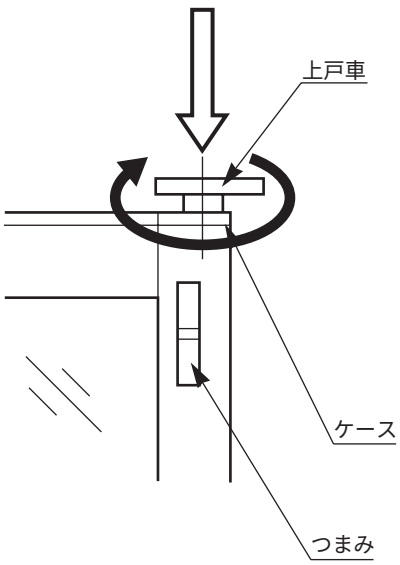


取付けの際は、必ず上戸車の向きを確認してください。
左右の上戸車の長い方どうしが内側を向くようにして、扉左右の上部のつまみを下げて取り付けてください。



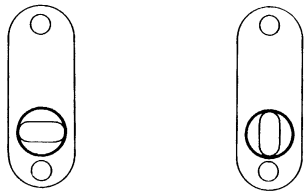
※正しく取り付けられていない場合、**扉が外せなくなったり、漏水の原因**となります。

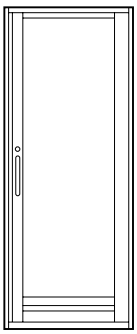
上戸車がつまみで上下できない場合は上戸車の向きを短い方が内側を向く状態にし、ケースに当たるまで押し込みます。押し込んだ状態で上戸車を１８０度回転させ、長い方が内側に向いた状態で手を戸車からはなしてください。上戸車がつまみで上下できれば対処完了です。
※上戸車がつまみで上下できない場合、上戸車とつまみを扉から取り外さないでください。元に戻せなくなります。



片引き戸の施錠・解錠

施錠・解錠





⚠注意

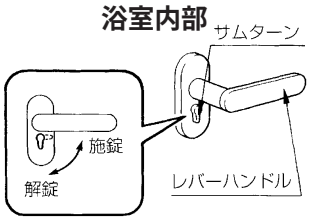
開閉の際には、戸のすき間に指や手をはさまないよう、注意してください。
※**ケガをするおそれ**があります。

開き戸の施錠・解錠

1 浴室内側からの施錠・解錠

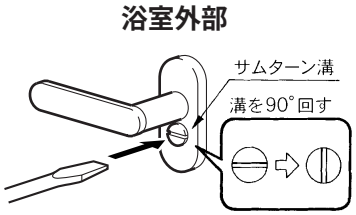
施錠はサムターンを右側横向きにし、解錠は下向きにします。

※浴室から出る際にドアを閉めるときは、サムターンを解錠状態にしてください。
施錠の状態にしたままドアを閉めますと、入室できなくなります。
その場合は、下の「浴室外側からの解錠（非常時）」をご覧ください。



2 浴室外側からの解錠（非常時）

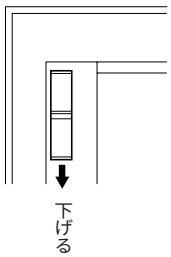
非常時に浴室外から解錠するときは、サムターン溝にマイナスドライバー等を差し込んで90°回してください。
サムターンが解錠となり、ドアを開けることができます。



開き戸の取外し方

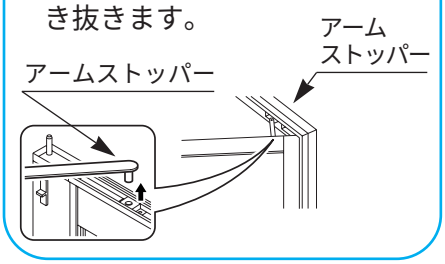
浴室内で人が倒れる等によりドアが開かなくなった場合には、以下の要領で救助作業を行ってください。

1 扉上部のツマミを下げます。

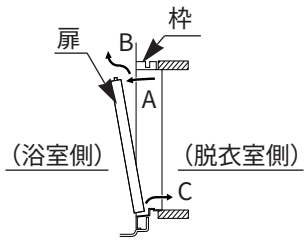


2 レバーハンドルを操作し､ドアを浴室側に開きます。

3 扉上部のアームストッパーを上へ押し、扉本体から引き抜きます。



4 扉上部を浴室側へ倒しながら（図中A）上方へ持ち上げます。（図中B）



扉を少し斜めにしながら、扉下部から脱衣室側へ扉を取り外します｡(図中C)

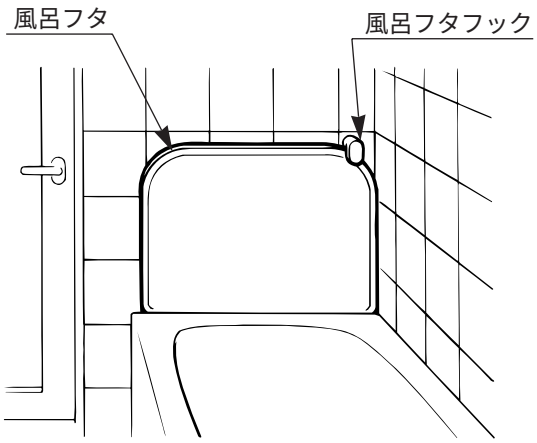
※取付けは「取外し方」と逆の手順で行います。
※取付後は､ツマミの溝がたてになっていることを確認してください。

オプション機能

風呂フタの使い方

組みフタの場合

組みフタの場合、浴槽背もたれ側の壁に風呂フタフックが付いています。
入浴するときは風呂フタをフックにかけてください。

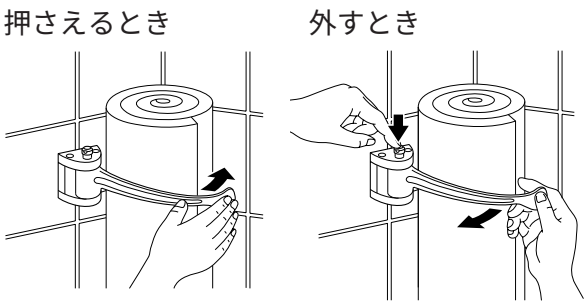


⚠注意

風呂フタフックにもたれたり、無理な力をかけないでください。
※**破損の原因**となります。

巻きフタの場合

オプションで巻きフタフックの設定があります。入浴の時は巻きフタをフックで押さえてください。
※事故防止のためフックを使用しない時は壁に寄せてください。



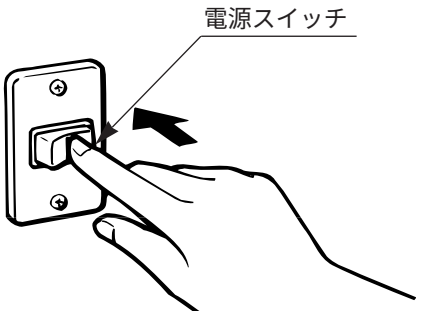
⚠注意

風呂フタフックにもたれたり、無理な力をかけないでください。
※**破損の原因**となります。

換気扇の使い方

詳しくは換気扇の取扱説明書をご覧ください。

浴室外にある電源スイッチを押して換気扇を操作します。
※換気扇を運転する場合は、窓やドアを閉めないでください。
P.10の「換気などに注意!!」を参照して、ご使用ください。



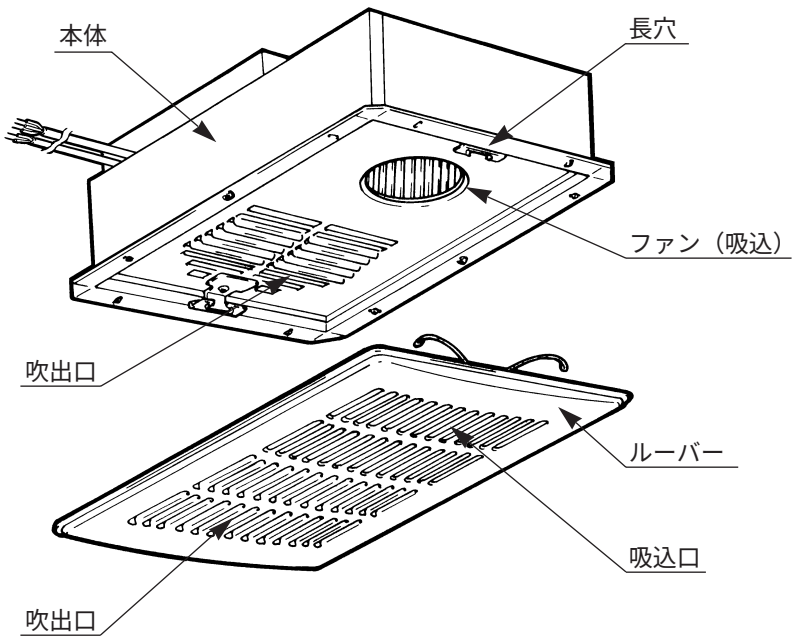
ワンポイント

浴室の耐久性を増し、換気扇を長くご使用いただくために、入浴後3時間程度換気扇を運転したり、窓を開けるなどして湿気を十分換気することをお薦めします。

浴室暖房機の使い方

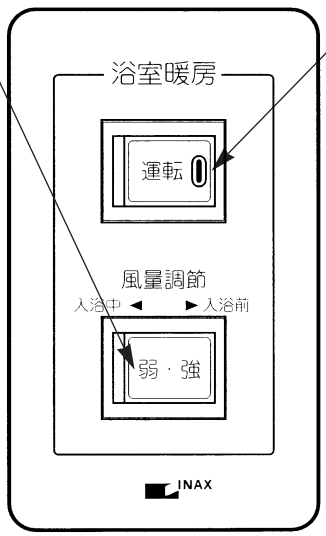
詳しくは浴室暖房機の取扱説明書をご覧ください。
※入浴前30分から60分程度風量を「強」で運転しておくと浴室全体が暖かくなります。

各部の名称とはたらき



風量調節スイッチ

入浴前に右側を押します。
入浴中は左側を押します。



運転スイッチ

運転するとき右側を押します。
停止するとき左側を押します。

⚠注意

使用後は必ず運転を停止してください。
※運転スイッチの左側を押します。

換気乾燥暖房システムの使い方

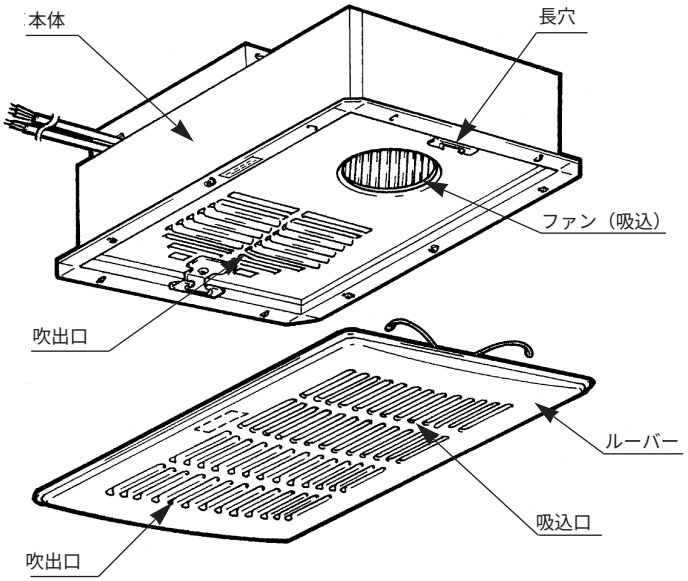
詳しくは換気乾燥暖房システムの取扱説明書をご覧ください。

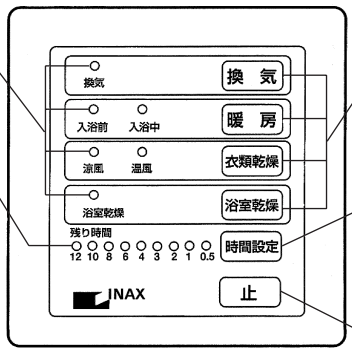
換気乾燥暖房システムは、別途設置した換気扇を連動させることにより、浴室を換気する以外に、浴室の洗濯物を乾燥させたり、入浴前暖房、入浴中暖房を行うこたができます。

詳しくは換気乾燥暖房システムの取扱説明書をご覧ください。また、当社以外の換気乾燥機が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

※入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと浴室全体が暖かくなります。

各部の名称とはたらき





表示ランプ

各運転モードに応じて点灯します。

残り時間ランプ

設定された時間ランプが点灯し、運転開始とともに残り時間が点灯します。

運転ボタン

各運転モードの運転を開始します。

時間設定ボタン

運転時間を設定します。

止ボタン

各運転モードの運転を停止します。

⚠ 注意

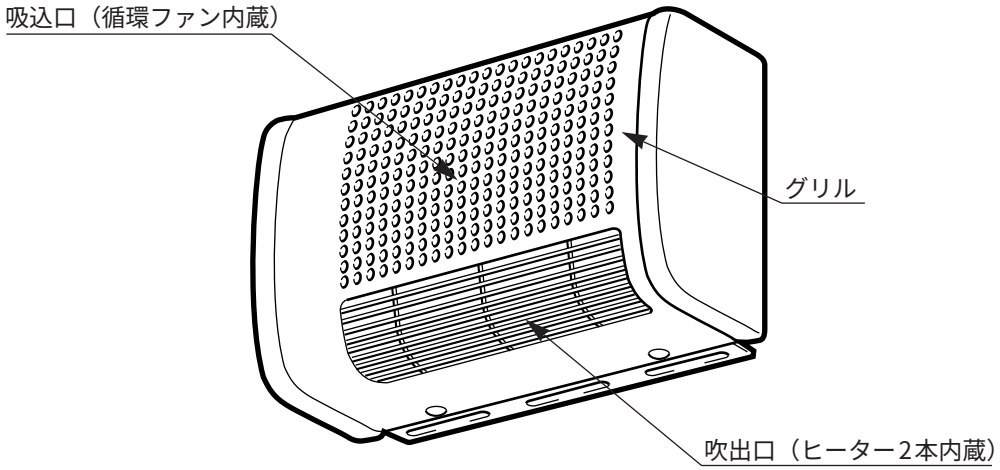
表示ランプと残り時間ランプが各1個同時に点滅するとき、または残り時間ランプが2個同時に点滅するときは、ただちに当社指定の取扱店へ修理を依頼してください。

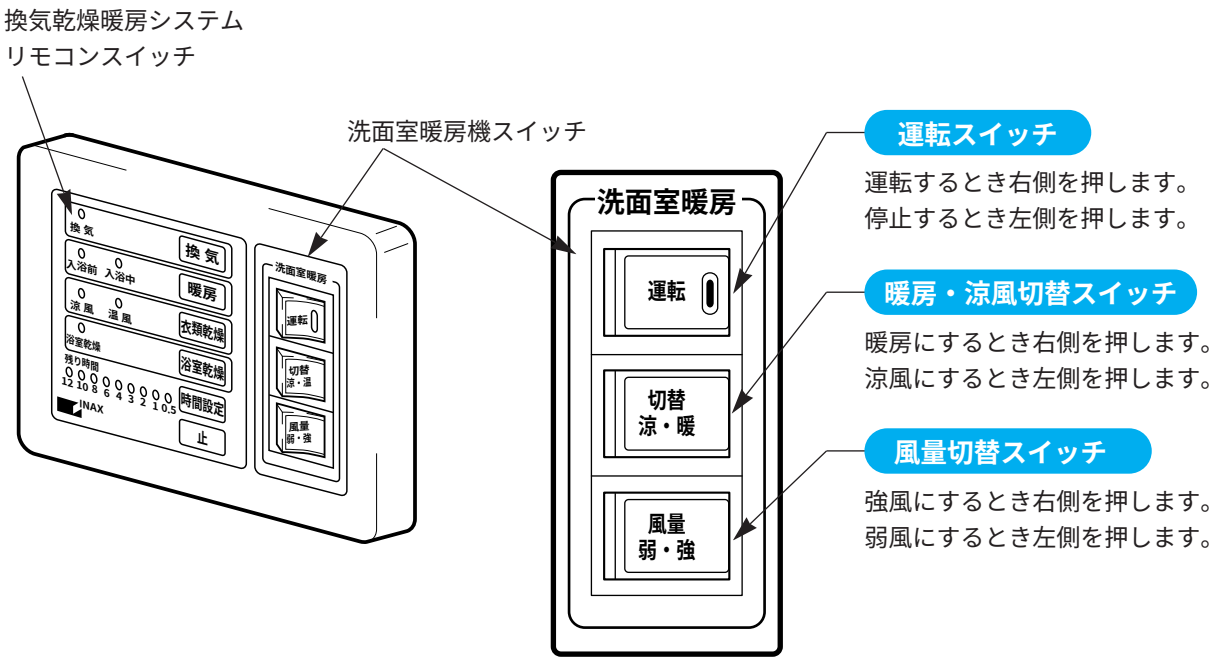
※装置内に異常が起こり、事故防止のため、安全装置が働いて自動停止している状態です。

換気乾燥暖房システム・2室暖房タイプ（洗面室暖房機部分）の使い方

詳しくは洗面室暖房機の取扱説明書をご覧ください。
※入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと浴室全体が暖かくなります。

各部の名称とはたらき





運転スイッチ

運転するとき右側を押します。
停止するとき左側を押します。

暖房・涼風切替スイッチ

暖房にするとき右側を押します。
涼風にするとき左側を押します。

風量切替スイッチ

強風にするとき右側を押します。
弱風にするとき左側を押します。

⚠ 注意

使用後は必ず運転を停止してください。
※運転スイッチの左側を押します。

温水式換気乾燥暖房機の使い方

詳しくは温水式換気乾燥暖房機の取扱説明書をご覧ください。
温水式換気乾燥暖房機は、浴室を換気する以外に、浴室で洗濯物を乾燥させたり、浴室内の暖房を行うことができます。
詳しくは温水式換気乾燥暖房機の取扱説明書をご覧ください。また、当社以外の換気乾燥機が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。
※入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと浴室全体が暖かくなります。

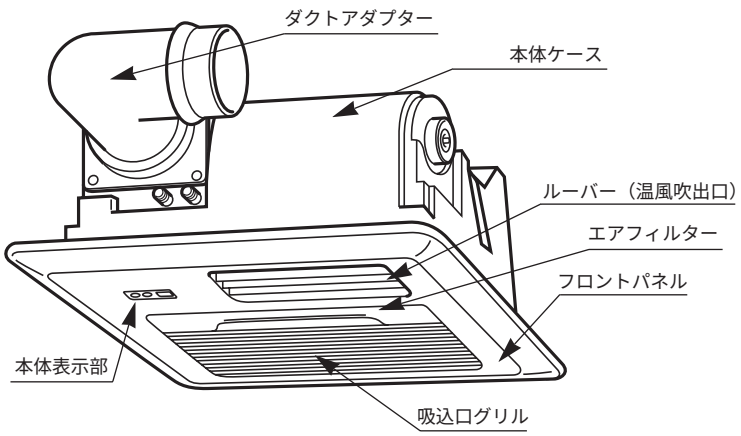
各部の名称とはたらき

本体表示部

予約ランプ
予約暖房運転の待機中は橙色に点灯します。

リモコン受光部

運転／給水ランプ
運転中は緑色に点灯します。
緑色点滅時：本機の異常です。
赤色点灯時：熱源機の湯水異常です。
赤色点滅時：熱源機の異常です。
（上記の状態になった場合は、温水式換気乾燥暖房機の取扱説明書をご確認ください。）
・熱源機の種類によっては異常をランプで表示しない場合もあります。



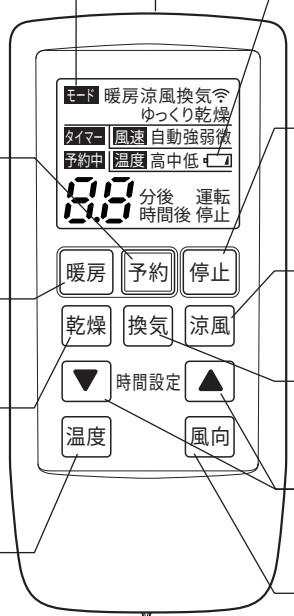
運転モード表示部
※右のイラストは説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

予約暖房ボタン
予約暖房時に使用します。

暖房ボタン
暖房時に使用します。

乾燥ボタン
衣類乾燥・浴室乾燥時に使用します。

温度設定ボタン
暖房運転時に温度設定を変更する時に使用します。



送信部

電池消耗表示
この表示が出たら電池を交換してください。

停止ボタン
各モードの運転停止およびエラー停止の解除に使用します。

涼風ボタン
涼風運転時に使用します。

換気ボタン
換気運転時に使用します。

時間設定ボタン
各モードの時間設定に使用します。

風向切替ボタン
風向（ルーバー角度）を切替える時に使用します。

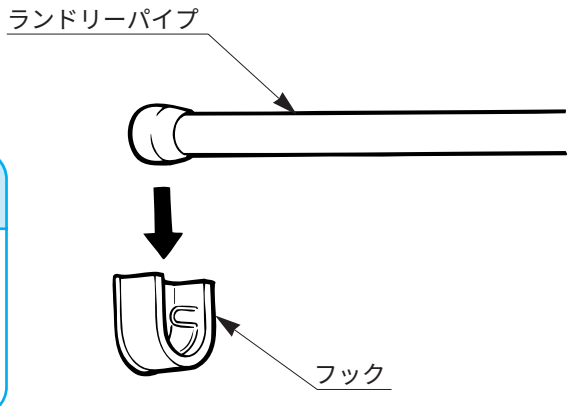
リモコンくさり
万一、リモコンを落としてしまった時、破損を防止するためのくさりです。

凍結予防運転

●気温が低くなった時の、温水配管の破損を防止するため、本機が停止中でも自動的に熱源機内蔵の温水循環ポンプを運転し、配管内に温水を循環させます。
●冬期には、熱源機、本機とも電源を切らないでください。凍結予防運転ができなくなり機器が破損することがあります。
（詳しくは、熱源機の取扱説明書をご覧ください。）

ランドリーパイプの取付け方

浴室で洗濯物を乾燥させるときに使用します。
浴槽壁の両側にあるフックに確実にはめてご使用ください。



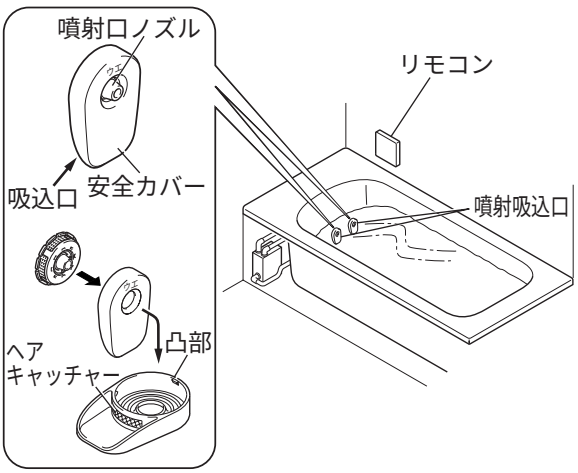
⚠注意

ランドリーパイプにぶら下がったり、強く引っ張らないでください。
※**ケガのおそれ**があります。
※洗濯物の安全荷重の目安は10キログラムです。

アクアジェットの使い方

詳しくはアクアジェットの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき



リモコン

ジェット の部分を押すことで、運転を開始します。
再度押すと停止します。

つよさ の部分を押すことで噴流強さが切り替わります。

⚠警告

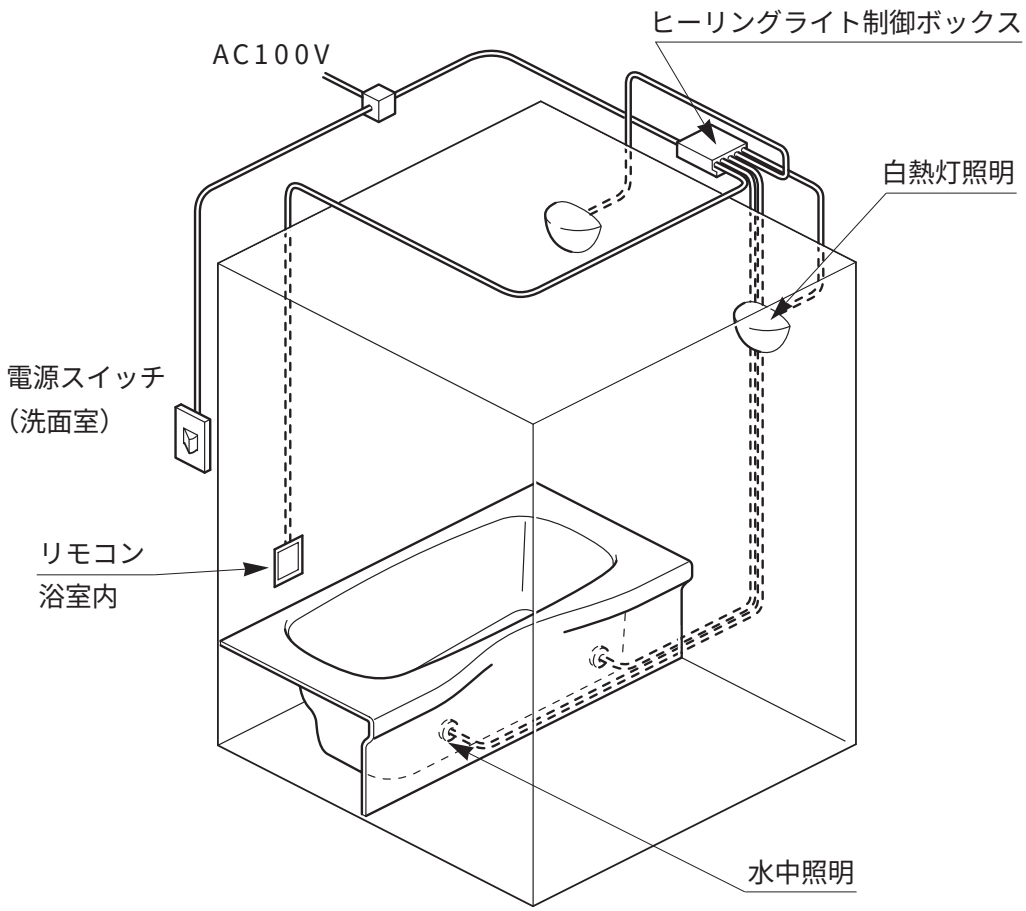
- 安全カバーが外れたり破損したままで使用しないでください。
- 使用するときは、吸込口や噴射口をふさがないでください。
- 浴槽内にもぐらないでください。
- 子供だけで入浴中の場合は、運転させないでください。

※髪や身体の一部が吸い込まれて、**おぼれたりケガをするおそれ**があります。

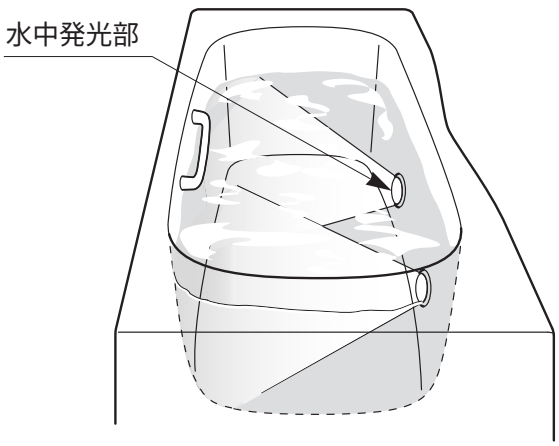
ヒーリングライトの使い方

詳しくはヒーリングライトの取扱説明書をご覧ください。

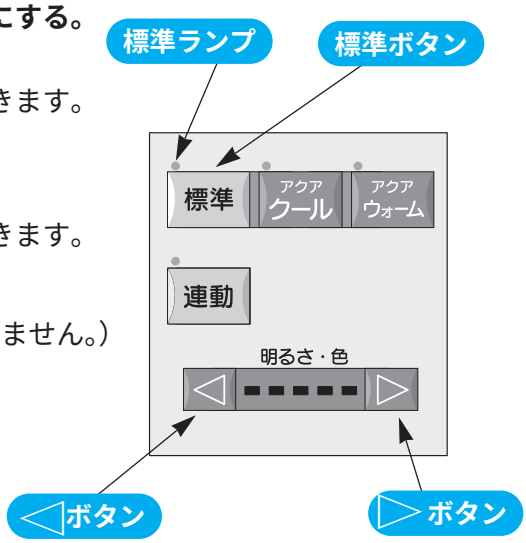
各部の名称とはたらき



リモコン

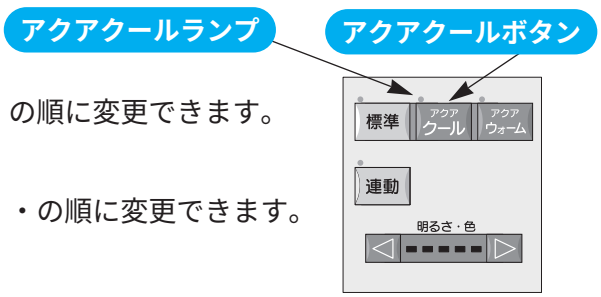


洗面室の 電源スイッチ（照明スイッチ）を入にする。
・「標準」モードで立ち上がります。
・標準ランプが点灯し、白熱灯照明が全灯でつきます。

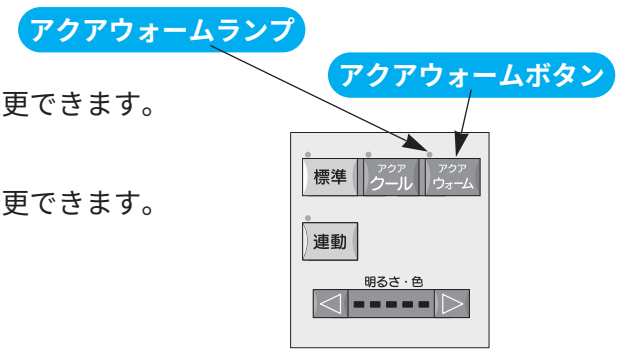


標準ボタンを押す。
・標準ランプが点灯し、白熱灯照明が全灯でつきます。
◁ボタンを押す。
・白熱灯照明が暗くなります。（完全には消灯しません。）
▷ボタンを押す。
・白熱灯照明が明るくなります。

アクアクールボタンを押す。
・アクアクールランプが点灯し、白熱灯照明がほんのり点灯します。
・水中照明が青色に点灯します。
◁ボタンを押す。
・水中照明が白→緑→青緑→青→白→・・の順に変更できます。
▷ボタンを押す。
・水中照明が青緑→緑→白→青→青緑→・・の順に変更できます。



アクアウォームボタンを押す。
・アクアウォームランプが点灯し、白熱灯照明がほんのり点灯します。
・水中照明が黄色に点灯します。
◁ボタンを押す。
・水中照明が紫→赤→黄→・・の順に変更できます。
▷ボタンを押す。
・水中照明が赤→紫→黄→・・の順に変更できます。



連動の操作

⚠注意

連動機器が設定されていない場合は動作しません。
連動機器（アクアジェット）が設定されていない場合は動作しません。
この場合、 連動ボタン は 標準ボタン と同様の動作内容となります。

連動機器（アクアジェット）がＯＦＦの状態のとき

連動ボタン を押す。

・連動ランプが点灯し、白熱灯照明が全灯でつきます。

◁ボタン を押す。

・白熱灯が暗くなります。（完全には消灯しません。）

▷ボタン を押す。

・白熱灯が明るくなります。

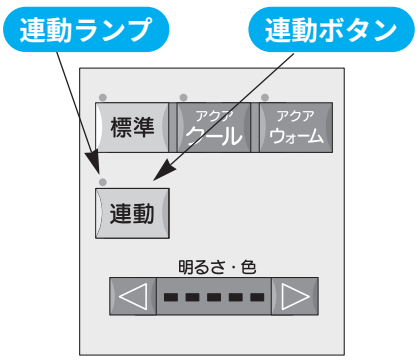
連動機器（アクアジェット）の操作スイッチをＯＮにすると・・

・連動ランプは点灯したままで、白熱灯照明がほんのり点灯します。

・水中照明がクール系統の色に点灯し、一定時間毎に色が変化します。

連動機器（アクアジェット）の操作スイッチをＯＦＦにすると・・

・連動ランプは点灯したままで、水中照明が消灯し、白熱灯照明が全灯でつきます。



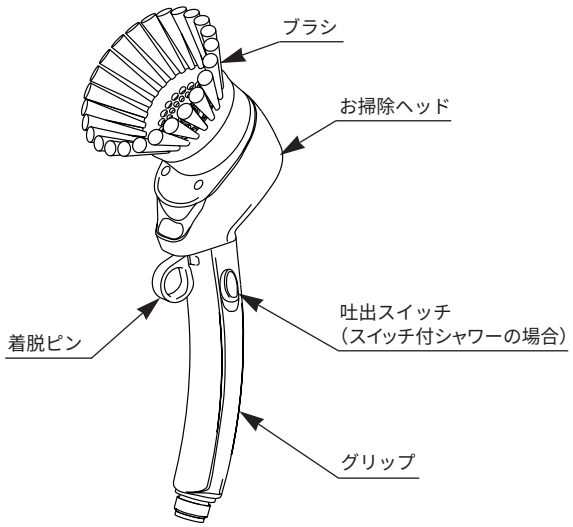
※連動モードは連動機器の電流量を検知して作動します。
アクアジェットのパルスモードなど電流量の少ない場合は自動サイクル点灯が中断することがあります。

お掃除シャワーの使い方

詳しくはお掃除シャワーの取扱説明書をご覧ください。

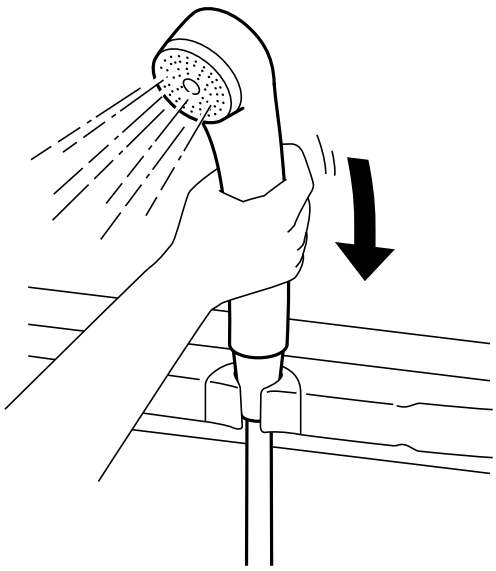
各部の名称とはたらき

シャワーヘッドとお掃除ヘッドを交換するだけで、簡単にお掃除シャワーとしてご使用いただけます。
シャワーの水圧によってブラシが回転するため、水で洗い流しながらお掃除ができます。
※水圧が0.1MPa以下の場合は、回転力が不足してブラシが回らないことがあります。
※クレンザー・磨き粉を使用しないでください。
※光沢のある樹脂製品に強く押し付けて使用するとキズがついたり、光沢を失う場合があります。



手元シャワーフックの使い方

カウンターには、手元シャワーフックが付いています。
洗面器に水をためる場合など、水の勢いでシャワーヘッドが回ることがあります。
その時はヘッドの根元を軽く下に押し込み、固定してご使用ください。
※シャワーフックにかけたまま、シャワーヘッドに無理な力を加えないでください。
シャワーフックやカウンターが破損するおそれがあります。
※止水後シャワー内に貯まった水が滴下する場合があります。

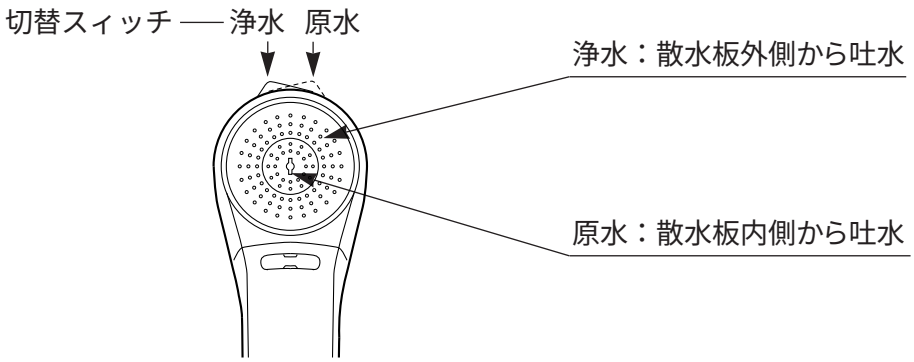


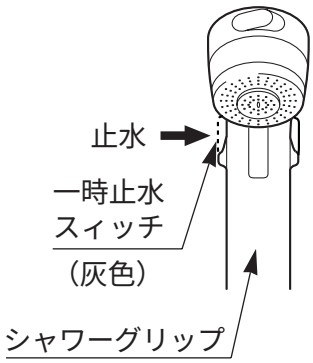
スイッチ付ＣＣ（塩素除去）シャワーの使い方

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

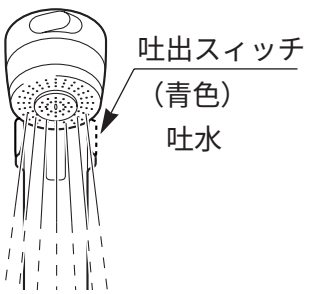
各部の名称とはたらき

シャワーヘッド先端の切替スイッチで浄水-原水の切替えができます。





シャワーの吐出を一時的に止めたいときは
シャワーグリップの一時止水スイッチ（灰色）
を押します。



吐出を再開したいときは吐出スイッチ
（青色）を押します。

⚠ 注意

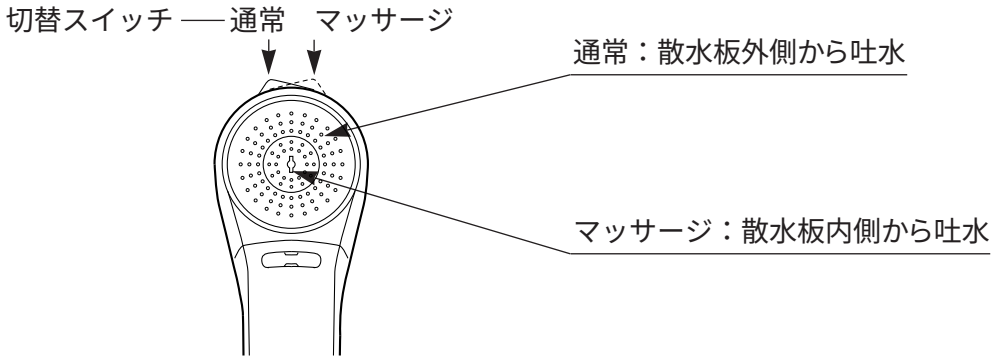
水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。

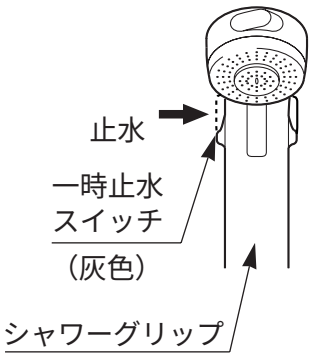
スイッチ付マッサージシャワーの使い方

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

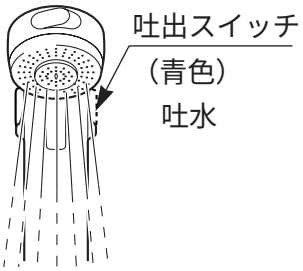
各部の名称とはたらき

シャワーヘッド先端の切替スイッチで切替えができます。





シャワーの吐出を一時的に止めたいときは
シャワーグリップの一時止水スイッチ（灰色）
を押します。

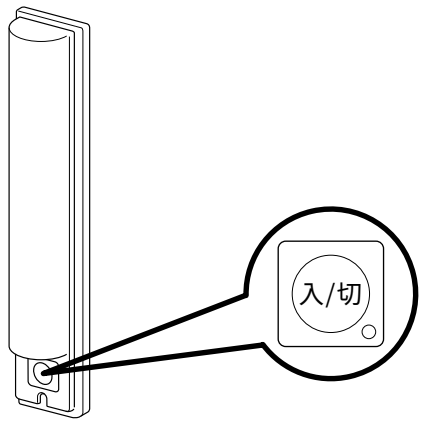


吐出を再開したいときは吐出スイッチ
（青色）を押します。

⚠注意

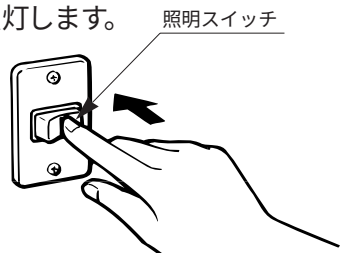
水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。

フェイスライトの使い方



点灯したい時

1 浴室外にある照明スイッチを押し、点灯します。



2 フェイスライトのスイッチを押し、点灯します。

右下のランプ-赤

消灯したい時

1 浴室内で操作する場合
フェイスライトのスイッチを押し、消灯します。

右下のランプ-点灯なし

2 浴室外で操作する場合
浴室外にある照明スイッチを押し、消灯します。

右下のランプ-点灯なし

⚠ 注意

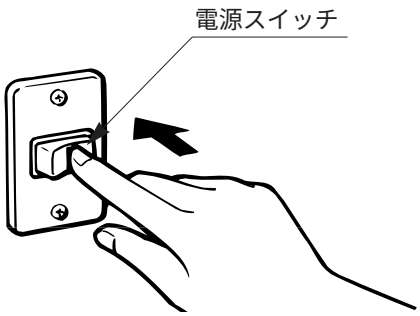
蛍光灯器具の分解、改造は絶対に行わないでください。
※**感電やショート、故障の原因**になります。

照明カバーに固いものをぶつけたり、たたくなど衝撃を加えないでください。
※**破損、ケガの原因**になります。

浴室内リモコンのスイッチを大きな力で押したり、シールをはがしたりしないでください。
※**火災や感電・ショート・故障の原因**になります。

くもり止め機能付ミラーの使い方

照明と連動してくもり止めヒーターが作動します。
浴室外にある電源スイッチを押して操作します。
※消し忘れに注意してください。



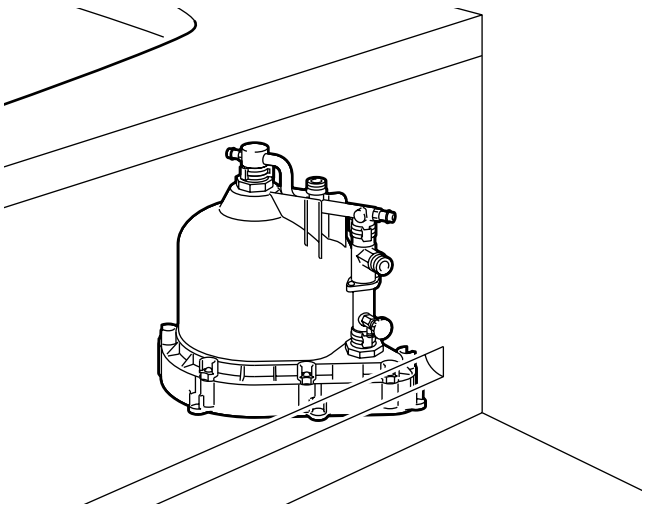
ワンポイント

除曇に必要な時間は、時間、季節、環境により異なりますが、約15分程度で表面のくもりがとれ、使用可能になります。

即湯システムの使い方

詳しくは、即湯システムの取扱説明書をご覧ください。

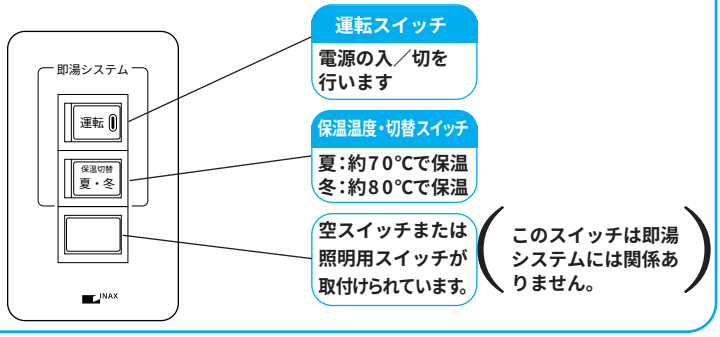
各部の名称とはたらき



このシステムは、エプロン裏側に設置されたタンクに温水を貯め、水栓使用時に配管などの冷水とタンク内の温水を混合して水栓にお湯を供給することで、水栓使用初期の冷水を少なくするシステムです。
これを即湯効果といいます。これは洗い場側水栓専用の機能です。浴槽側水栓にはこの機能はありません。
※水栓を短い間隔で使用されたり、使用流量が多い場合には使用途中に温度低下を生じやすくなることがあります。

⚠ 警告

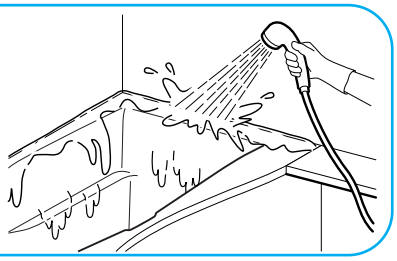
タンクが空のときや水抜きをした後は、絶対に運転スイッチを入れないでください。
※異常に温度が上昇し、**火災や破損の原因**となります。



お手入れ方法

入浴後のお手入れ

浴槽と壁のすき間にシャワーで熱めのお湯をかけます。
※すき間に入ったお湯は浴槽下から排水されますので心配ありません。
※すき間が汚れている場合は毛先の長いやわらかいブラシ等で掃除してください。
※シャンプー等の泡が壁パネル等に残るとカビが発生しやすくなるので、シャワーで洗い流してください。



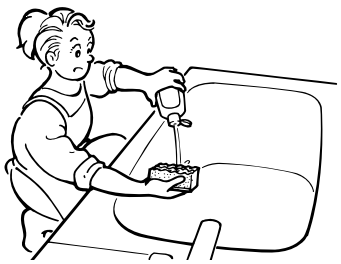
日頃のお手入れ

共通

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは、アンモニア、苛性ソーダ、塩酸などの薬品や漂白剤は使用しないでください。
※**キズ、変色等の原因**になります。
また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでお止めください。

浴槽や風呂フタ・床

入浴後の湯を放置すると、浴槽の内面に青緑や白い汚れ（金属石鹸）が付いて落ちにくくなります。市販のクリームクレンザーを使用して磨けば落ちますがクレンザーの多用は浴槽表面を傷つけ、光沢を失います。浴槽を長くきれいに使うため入浴後はできるだけすみやかに排水、掃除をしてください。
掃除：浴槽用中性洗剤をスポンジか柔らかい布に付けて洗い、その後水でよく洗い流してください。
※イデアトーン浴槽には、クレンザーのご使用はお止めください。



ワンポイント 入浴後はすみやかに排水、掃除をされることをおすすめします。また浴槽の底にたまったゴミや鉄粉はよく洗い流してください。放置すると取れなくなる場合があります。

ドア

中性洗剤でふき洗いしてください。
洗剤は湿らせた布で、きれいにふきとってください。
ドアに直接水をかけないでください。
※浴室外に水が漏れ、他の部屋に悪影響を及ぼすことがあります。

鏡・カウンター・洗面器台・収納・窓枠

うすめた浴室用合成洗剤をスポンジなど柔らかいものに付けてふいてください。ふいた後は水を含ませた柔らかい布で洗剤をよくふき取ってください。
※シャワーの水滴がカウンターに滴下、乾燥を繰り返すうち、水道水中の水垢がカウンターに付着してとれなくなることがあります。カウンター上の水残りはこまめにふき取ってください。

週1回程度のお手入れ

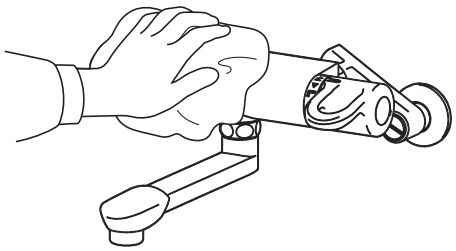
水栓金具・タオル掛けのお手入れ

水栓金具、タオル掛けは週に1回程度、乾いた柔らかい布でふいてください。

※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
キズがついたり、メッキがはがれたりします。

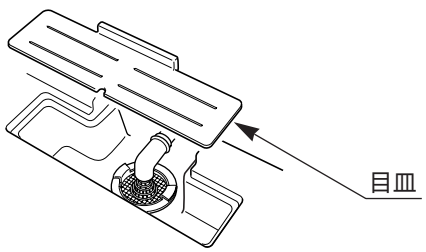
※ アルカリ性洗剤や酸性物が付かないようにしてください。
メッキを傷めます。

※水栓金具については各取扱説明書を参照ください。

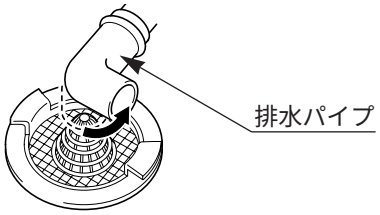


床排水トラップ

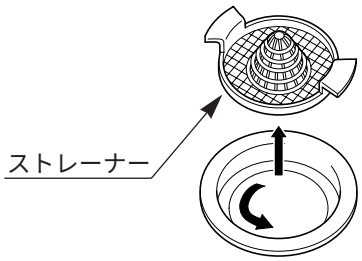
1 目皿を取り外します。



2 排水パイプの先を横に向けます。



3 ストレーナーを回して取り外します。

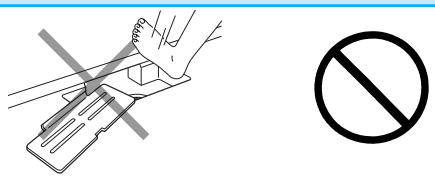


4 ストレーナーや排水トラップ周辺のゴミを取り除いてください。
※ゴミは週に一度は取り除いてください。

5 お手入れの後は取外しと逆の手順で取り付けます。
※排水パイプ、およびストレーナーはきちんとはめ込んでください。

⚠注意

お手入れは、目皿を外したまま、きちんとはめ込まないで使用しないでください。
※足を踏み外して、**ケガをするおそれ**があります。

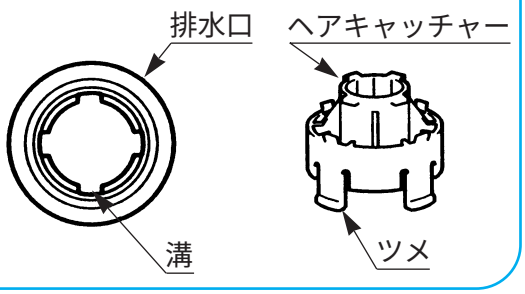


浴槽排水口のお手入れ

排水口のゴミ等は、週に１度は取り除いてください。

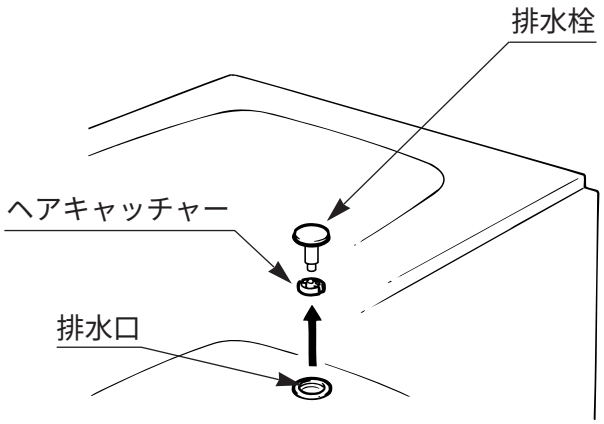
1

排水栓を取り外します。
※排水栓を取り外した時ヘアキャッチャーがいっしょに外れてしまった場合はヘアキャッチャーを排水栓からはずします。
排水口内の溝にツメがはまるように向きを合わせて、カチンというまではめ込んでください。

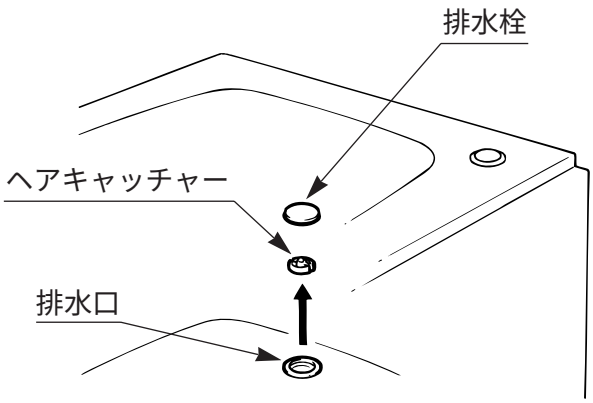


2

ヘアキャッチャーについているゴミを取り除いてください。
※取り除いたゴミ等は、直接流さないでください。
排水管のつまりの原因となります。



外付け型



内蔵型

3

排水栓を排水口に付けます。
※カチンというまではめ込んでください。

4

プッシュボタンを押して排水栓の開閉を確認してください。

念入りなお手入れ

壁パネル・ドアのお手入れ

中性洗剤でふき洗いしてください。
洗剤は湿らせた布で、きれいにふきとってください。

天井・照明カバーのお手入れ

食器用中性洗剤をうすめてスポンジなど柔らかいものに含ませてふいてください。ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。
※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
　キズがつきます。

くもり止め機能付ミラーのお手入れ

⚠警告

分解や改造をしないでください。
※**感電や漏電、火災の原因**となります。

自家修理や移設を行わないでくだい。
※**感電や漏電、火災の原因**となります。

使用しないで

洗剤、洗浄剤を直接ふりかけないでください。
強酸性、強アルカリ性の液(トイレ洗浄剤、カビ取り剤等)は使用しないでください。
※ ヒーター各部を損傷し、**故障や劣化の原因**となります。

⚠注意

鏡の周囲をおそうじする際、必要以上に強い力を加えないでください。
※**ケガをするおそれ**があります。

浴槽下のお手入れ（ベンチ付浴槽以外の場合）

⚠ 注意

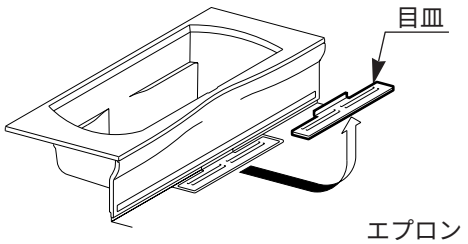
ケガに注意

浴槽下のお手入れは、腕が露出しない服装で、ゴム手袋を使って行なってください。
※**ケガをするおそれ**があります。

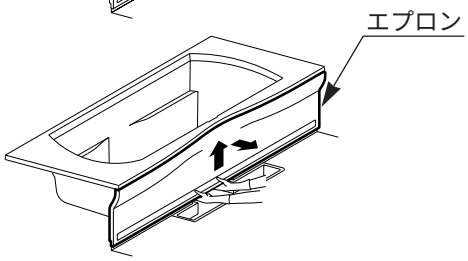
浴槽下には直接、腕や手を入れないでください。
※突起部などで**ケガをするおそれ**があります。

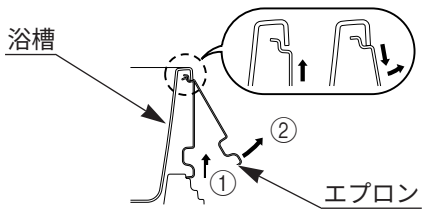
エプロンの取外しおよび取付けは、エプロン下中央を持って行なってください。
※端を持つと、防水パンとエプロンの間に指をはさみ、**ケガをするおそれ**があります。

1 目皿を取り外します。

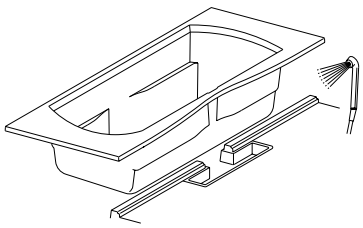


2 エプロンを取り外します。
エプロンの下中央を持ち、軽く押し上げながら、手前に引き出します。

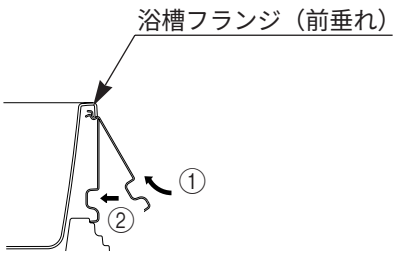




3 浴槽下にシャワーで散水し、ゴミや汚れを洗い流します。



4 お手入れが終わったら、エプロンを取り付けます。
エプロンの下中央を持ち、エプロン上部を浴槽フランジに差し込み、軽く押し上げながら防水パンにのせます。
※エプロンが防水パンに納まりにくい場合は、浴槽フランジを少し持ち上げるようにして、納めてください。



5 目皿を取り付けます。

浴槽下のお手入れ（ベンチ付浴槽の場合）

⚠ 注意

ケガに注意

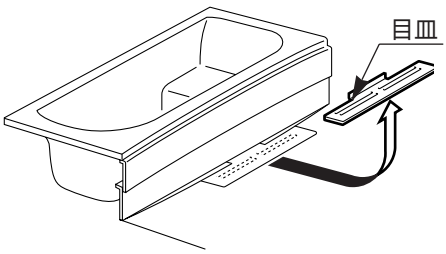
浴槽下のお手入れは、腕が露出しない服装で、ゴム手袋を使って行なってください。
※**ケガをするおそれ**があります。

浴槽下には直接、腕や手を入れないでください。
※突起部などで**ケガをするおそれ**があります。

エプロンの取外しおよび取付けは、エプロン下中央を持って行なってください。
※端を持つと、防水パンとエプロンの間に指をはさみ、**ケガをするおそれ**があります。

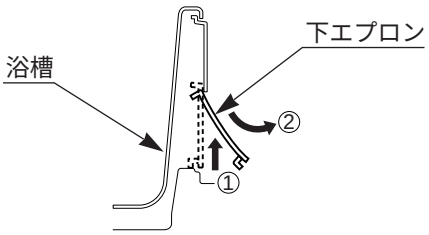
1

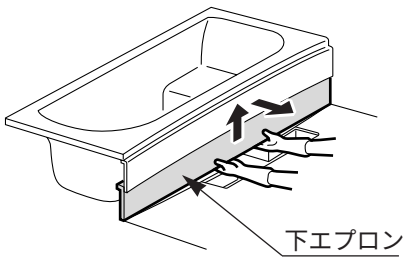
目皿を取り外します。



2

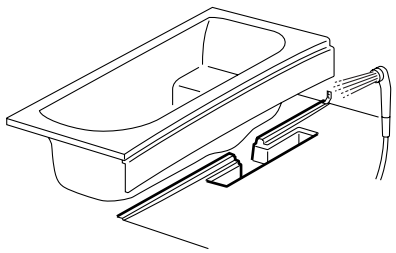
下エプロンを取り外します。
下エプロンの下中央を持ち、軽く押し上げながら、手前に引き出します。





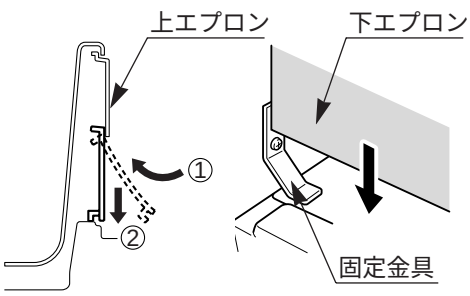
3

浴槽下にシャワーで散水し、ゴミや汚れを洗い流します。



4

お手入れが終わったら、下エプロンを取り付けます。
エプロンの下中央を持ち、下エプロン上部を上エプロンに差し込み、軽く押し上げながら防水パンにのせます。
※その際、下エプロン下端の溝を固定金具にはめてください。



5

目皿を取り付けます。

換気扇、浴室暖房機、換気乾燥暖房システム、温水式換気乾燥暖房機のお手入れ

⚠ 警告

火事・ケガについての警告

修理技術者以外の人は、絶対にルーバー以外は分解したり修理・改造は行わないでください。
※**発火したり異常動作してケガをするおそれ**があります。

感電・ケガについての警告

換気扇のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。
※**感電やケガをするおそれ**があります。

⚠ 注意

故障・漏電に注意

暖房機や換気扇に水をかけないでください。
※**故障や漏電するおそれ**があります。

ヤケドに注意

暖房機の場合、運転停止後はすぐにヒーターなど本体にふれないでください。
※**ヤケドをするおそれ**があります。

ケガに注意

高い所での作業になります。ほこりの落下と足場には十分にご注意ください。
浴槽やカウンター洗面器台の上にのって作業をしないでください。
※**ケガをするおそれ**があります。

ルーバーやエアフィルターは確実に取り付けてください。
※落ちて**ケガをするおそれ**があります。

ゴム手袋を使ってお手入れしてください。
※**ケガをするおそれ**があります。

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸などの薬品や漂白剤は使用しないでください。
※**キズ、変色等の原因**になります。
また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでお止めください。

長くお使いいただくために

アクアジェット・即湯システムは各取扱説明書をご覧ください。

シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら

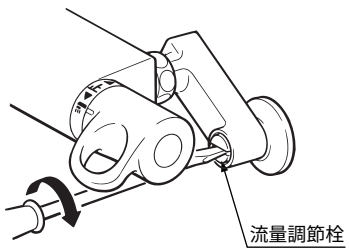
ストレーナーのお手入れ

ストレーナー等のゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき次の要領で掃除してください。

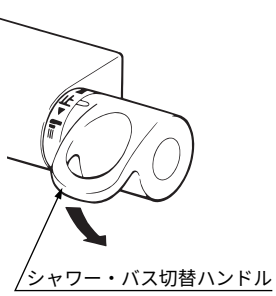
洗い場水栓のストレーナー掃除

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

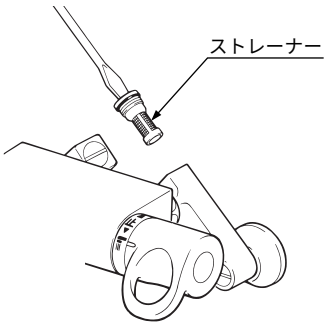
1 湯側（左）と水側（右）の流量調節栓を時計回りいっぱいねじ込みます。



2 シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（下）に回す。



3 大形のマイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を水で洗い流します。ストレーナーは、湯側と水側の両方に付いています。

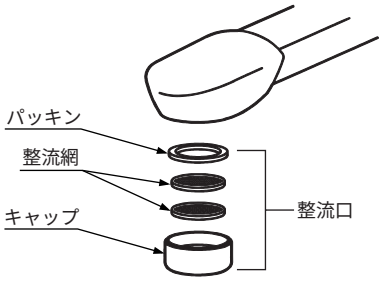


4 組付けは逆の手順で行い、流量調節栓は元の位置に戻します。

整流口のお手入れ

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

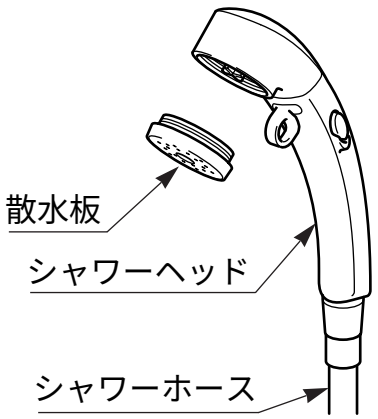
手でキャップを回して整流口を取り外し、整流網を水で掃除してください。



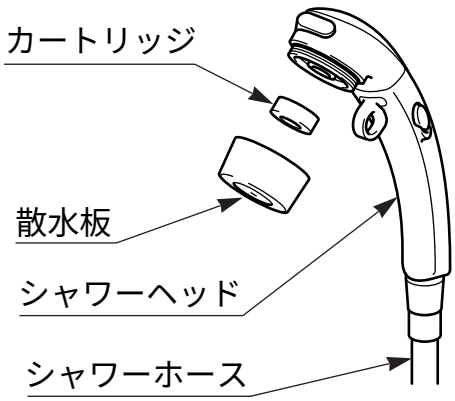
シャワー散水板のお手入れ

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

手で散水板を回して取り外し、水で掃除します。



※スイッチ付シャワーの場合、シャワーヘッドとシャワーホースは外さないでください。



照明用電球・蛍光灯の交換

電源スイッチを入れても照明がつかない場合は蛍光灯や電球が切れていることが考えられます。
電源スイッチを切って、次の要領で交換してください。
交換しても照明がつかない場合は、お求めの販売店へご連絡ください。

⚠ 警告

感電に注意

照明スイッチ（配電盤スイッチ）は必ず切った上で作業してください。
※ **感電やショートするおそれ**があります。

ぬれた手で交換作業をしないでください。
※ **感電やケガをするおそれ**があります。

⚠ 注意

お取扱注意

蛍光灯や電球および照明カバーの扱いには十分に注意してください。
※ ぶつけたり衝撃を加えると**破損の原因**になります。
※ ソケットの締込みは必ず行ってください。締込みが不十分だと**感電、ケガ、故障、動作不良の原因**になります。

浴室内リモコンのスイッチを大きな力で押したり、シールをはがしたりしないでください。
※ **火災や感電、ショート、故障の原因**になります。

蛍光灯器具の分解、改造は絶対に行わないでください。
※ **感電やショート、故障の原因**になります。

交換時の注意

蛍光灯や電球はセットされているワット数で同形式のものをご使用ください。
※ **故障の原因**となります。

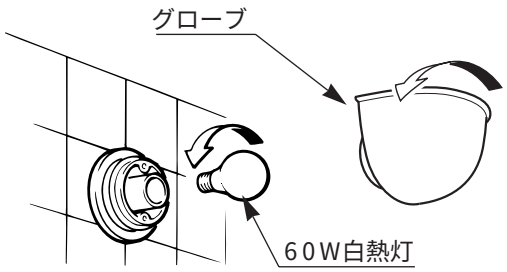
蛍光灯の交換の際、ゴムパッキンとキャップは忘れず、もとの位置に取り付けてください。
※ **感電、ケガ、故障、動作不良の原因**となります。

電球が切れてもすぐに交換しないでください。
※ 電球が熱くなっており、**ヤケドをするおそれ**があります。

器具に直接水をかけないでください。
※ **感電、ショート、故障の原因**になります。

白熱灯の交換

1.照明スイッチを切ります。
2.グローブを左に回して取り外します。
3.電球を取り外し、新しいもの（６０Ｗ白熱灯）に交換します。
4.グローブを右に回してしっかりと取り付けます。
間接照明の場合は、水平になるように取り付けます。
5.照明スイッチを入れて点灯することを確認します。



交換ランプについて

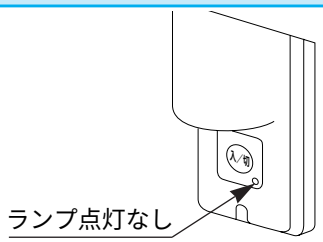
本体表示にしたがって、下記の指定されたのランプを使用してください。
※ 指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

適合ランプ	おすすめ交換ランプ
シリカ電球　６０Ｗまで	シリカ電球　５４Ｗ

フェイスライト用蛍光灯・グローランプの交換

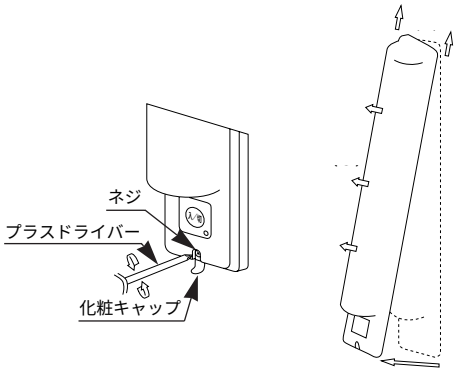
1 交換の前に

1.照明の電源を切ります。
浴室外のスイッチを操作して照明の電源を切り必ずリモコンスイッチのランプが消えていることを確認してください。
2.プラス（＋）ドライバーを用意します。



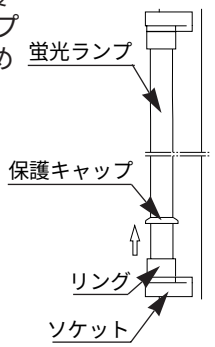
2 照明カバーの取外し

1.カバー下側にある化粧キャップをめくり、ネジをドライバーでゆるめます。
2.カバー下側を手前に引き出し、次にカバーを上にずらして取り外します。

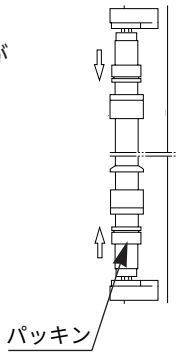


3 蛍光ランプの交換

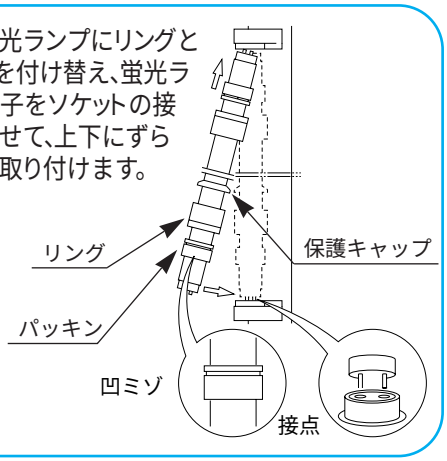
1.蛍光ランプ下側にある保護キャップをずらし、蛍光ランプ上下にあるリングをゆるめます。



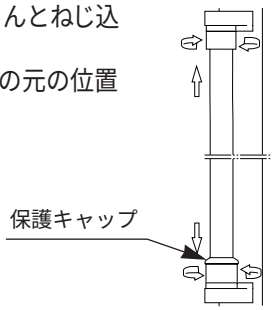
2.リングの中にあるパッキンをずらします。
蛍光ランプを上下にずらしながらソケットから取りはずします。



3.新しい蛍光ランプにリングとパッキンを付け替え、蛍光ランプの端子をソケットの接点に合わせて、上下にずらしながら取り付けます。



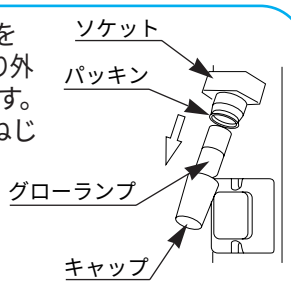
4.パッキンがソケットに当たるまでずらし、リングをきちんとねじ込みます。
保護キャップを下側の元の位置まで戻します。



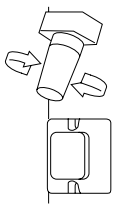
※リングを片方ずつねじ込むと蛍光灯がずれて点灯しないことがあります。リングは上下同時にねじ込んでください。

4 グローランプの交換

1.グローランプのキャップを取り外し、グローランプを取り外し、新しいものに交換します。
※グローランプはきちんとねじ込んでください。



2.キャップを取り付けます。
パッキンをはめてキャップはきちんとねじ込んでください。



5 照明カバーの取付け

取外しの逆の手順でカバー上部を照明本体に引っ掛けます。
カバー下部を押して仮固定します。
化粧キャップをめくり、ネジをドライバーで締め込み、化粧キャップをはめなおします。

交換ランプについて

◯適合ランプ
・蛍光ランプ：直管スタータ10形・白色（FL10W管径φ25.5）
・グローランプ：FG-7E
※昼光色、昼白色を取り付けた場合、初期状態と色合いが異なります。

◯取付けできない蛍光ランプ
・上記適合ランプ以外の直管スタータ10形
・管径がφ25.5以外の蛍光ランプ
・ラピッドスタータ形

⚠ 注意

感電のおそれあり、
電源を切ってランプを交換してください。
器具に直接水をかけないでください。
パッキンの向きに注意し各部品を必ず取り付けてください。
※**火災や感電・ランプ破損の原因**となります。

交換部品のご案内

INAXでは、お客様ご自身で交換可能な部品を用意しております。
なお、本頂で紹介していない修理等はおやめください。

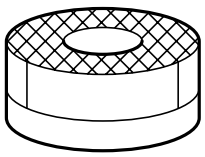
交換部品について

CC(塩素除去)シャワーのカートリッジ

詳しくは、CC(塩素除去)シャワーの取扱説明書をご覧ください。

交換部品名称	交換部品品番	価格(送料別途)
CCシャワー交換用 カートリッジ(2ヶ入り)	KS-6E	2,800円

カートリッジは標準的な水道水で約4000L使用できます。
(1日に60L使用した場合、約2ヶ月です。)
次の場合はカートリッジを交換してください。

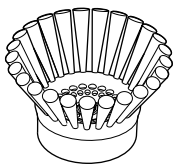


●カルキ臭がしてきた時
●汚れた水が出たり、カートリッジが著しく汚れた時
●シャワーの水量が著しく減った時
●長時間(夏期1ヶ月、冬期2ヶ月)使用しなかった時
※交換時期は使用水量、水質、水圧、水温によって短くなることがあります。

お掃除シャワーのブラシ

詳しくはお掃除シャワーの取扱説明書をご覧ください。

INAXでは、お客様ご自身で交換可能な部品(ブラシセット)を用意しています。



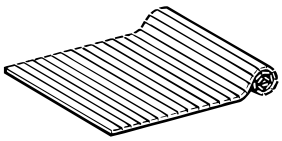
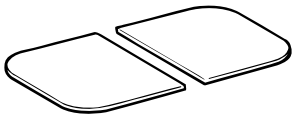
交換部品名称	交換部品品番	価格(送料別途)
ブラシセット(2ヶ入り)	SJS-BR1	2,200円

注意

ブラシには、毛を植えるための金属が埋め込まれています。廃棄される場合は、燃えないゴミとして廃棄してください。

巻きフタ・組みフタ

ご使用のユニットバスルームサイズによって、適合風呂フタが異なります。下表をご参照の上、お求めください。

	巻きフタ		組みフタ	
				
	交換部品品番	価格（送料別途）	交換部品品番	価格（送料別途）
1216	BL-S72114-K	5,200円	YFK-1175B(4)-K	15,000円
1616、1620、1818	BL-S72139-K	6,400円	YFK-1475B(3)-K	18,000円
ベンチ付浴槽	BL-S72153-K	6,400円	YFK-1579B-K	18,000円

●イデアトーン浴槽（表面に深い透明の層を持った浴槽）、エセンヌ浴槽（深い透明感のある質感の高い浴槽）には巻きフタの設定はありません。

●ベンチ付浴槽（半身浴用のステップのついた浴槽）でデッキ水栓付の場合は、巻きフタはご使用になれません。

交換部品の購入方法

上記の交換部品の名称と品番をご指定ください。

販売店等で購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
INAX商品の販売店、またはお近くのINAXショールームでお求めください。	（株）INAXメンテナンス宅配サービスにて承ります。 （宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。） **0120-00-1794** 受付時間9：00～17：00 （土、日、祝日を除く）

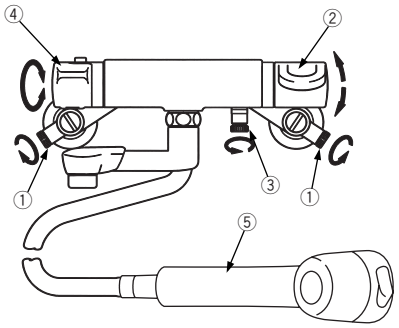
※ご必要になりました部品、またご不明な点については裏表紙のお客様相談センターにお問合せください。

冬期凍結のおそれがある場合

アクアジェット・即湯システムについては、各取扱説明書をご覧ください。

洗い場側水栓の水抜き（寒冷地仕様の場合）

詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。
凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

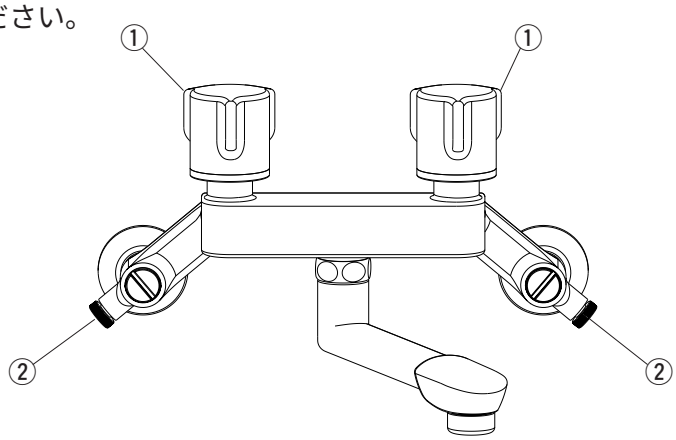


●止水バルブの開放（スイッチシャワー付のみ）
1．スイッチシャワー①の吐出スイッチ（青色）②を押して、シャワー・バス切替ハンドル④をシャワー側（上）に回し、シャワーヘッド①から水を出す。
2．シャワー・バス切替ハンドル④を止水位置に回す。
●水抜き操作
3．配管の水抜き操作をする。
4．取付脚の水抜栓③（2ヶ）を開ける。
5．温度調節ハンドル⑥を「C」側いっぱいに回す。
6．本体の水抜栓⑤（1ヶ）を開ける。
7．シャワーヘッドを最上段のシャワーフックにかけたまま、シャワー・バス切替ハンドル④をシャワー側（上）に回す。
8．温度調節ハンドル⑥を数回「C」側から「H」側まで回す。
9．シャワー・バス切替ハンドル④を吐水口側（下）に回す。
10．温度調節ハンドル⑥を数回「C」側から「H」側まで回す。
11．シャワーヘッド①を振って水をよく切り床に置く。
※再通水時には水抜栓③⑤を閉めてください。

浴槽側水栓の水抜き（寒冷地仕様／1216サイズの場合）

詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。
凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

●水抜き操作
1．配管の水抜き操作をする。
2．湯側ハンドル、水側ハンドル①を開ける。
3．取付脚の水抜き栓②（2ヵ所）を開ける。
※再通水時には水抜栓②を閉めてください。



故障かな？と思ったら

天井換気扇・浴室暖房機・換気乾燥暖房システム・温水式換気乾燥暖房機・アクアジェット・ヒーリングライト・即湯システムについては各取扱説明書をご覧ください。

※自動湯張りリモコン等の異常については給湯機器の取扱説明書または給湯機器本体にてメーカーをご確認のうえ、給湯機器メーカーへご連絡ください。

部位	現象	原因
水栓	水の勢いが弱い。	ストレーナーが目詰まりしている。
		給湯の能力が不足している。
	湯温が上がらないまたは変動する。	給湯器の設定温度が低い。
		給湯器の適水量が少なくて点火しにくい。
		給湯の能力が不足している。
		ストレーナーが目詰まりしている。
		サーモスタット水栓の温度調整がズレている。
白熱灯	白熱灯が点灯しない。	電球がソケットにしっかりとはまっていない。
		電球の寿命が切れている。
フェイスライト	フェイスライトが点灯しない	スイッチが入っていない。
		蛍光ランプ、グローランプがソケットにしっかりとはまっていない。
		蛍光ランプ、グローランプの寿命が切れている。
排水口	流したお湯がなかなか排水されない。	排水トラップまたはストレーナーが目詰まりしている。
床	床まわりの止水材（シリコン）がきれている。またははがれている。	

※天井について
ハイドーム天井、フルドーム天井、ドーム天井等の樹脂製天井は材料の特性上、音が発生する場合がありますが、故障につながるものではありません。

確認方法・対応方法	参照頁
ストレーナーの掃除をします。	41
浴室以外でできるだけ同時に湯を使わないようにします。	
給湯器の設定温度を上げます。	
給湯器の設定温度を下げ、適水量を多くする。（給湯器の取扱説明書をご覧ください。）	
浴室以外でできるだけ湯を使わないようにします。	
ストレーナーの掃除をします。	41
温度調節ハンドルを設定しなおします。（水栓の取扱説明書をご覧ください。）	
電球をソケットに確実にはめます。	44
電球を交換します。	44
浴室外にあるスイッチを操作し、浴室内照明（白熱灯）が点灯した状態でフェイスライトのスイッチを入れます。	31
蛍光ランプまたはグローランプを確実にはめます。	44
蛍光ランプまたはグローランプを交換します。	45
排水トラップまたはストレーナーの掃除をします。	35

左記の対応をしても直らないときは修理を依頼してください。

ハイドーム天井点検口フタの取外し方

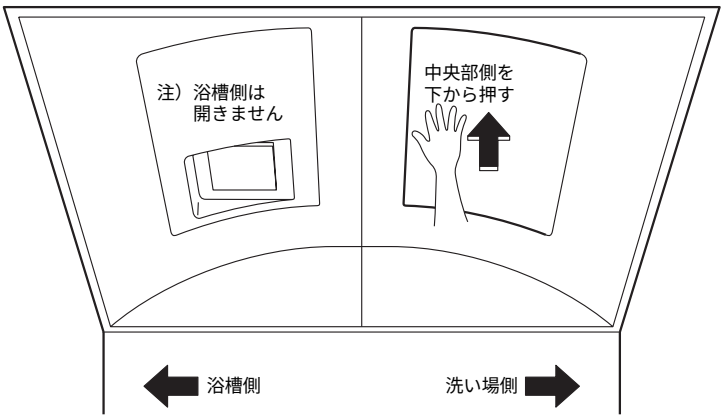
電気配線や配管関係等の点検・修理の際に工事業者様へお知らせください。

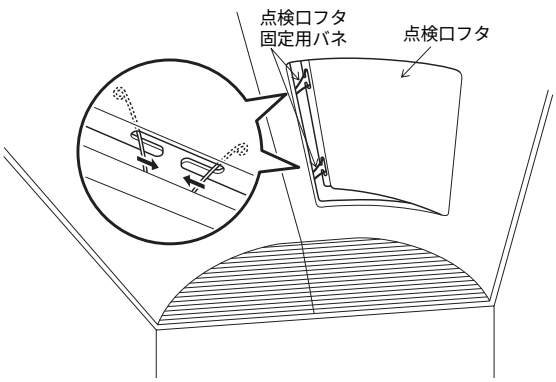
⚠ 注意

点検口は電気配線や配管関係などに異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身で開けたり、天井裏に物などを置かないでください。
※ **火災・感電や漏水の原因**となります。

1

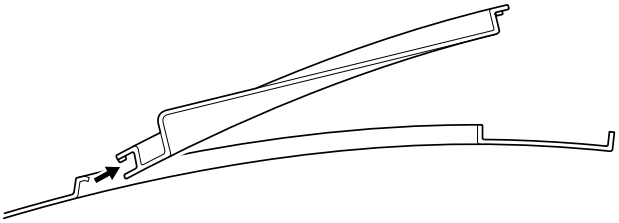
洗い場側点検口フタの中央よりを押し上げ、点検口フタを固定しているバネを内側につまんで、点検口フタから外します。





2

点検口フタを中央側にスライドさせると点検口フタが外れます。



3

点検口を再び取り付ける際は①②と逆の手順で取り付けます。

上エプロンの外し方（ベンチ付浴槽の場合）

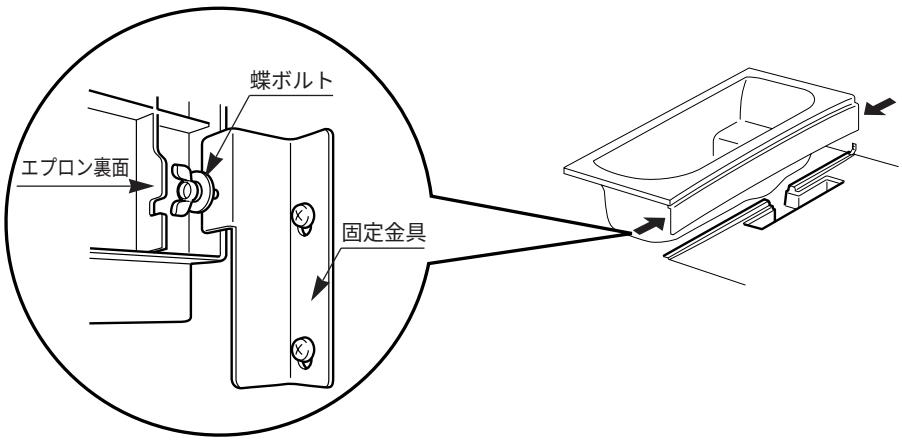
機器や配管関係の点検・修理の際に工事業者様へお知らせください。

⚠ 注意

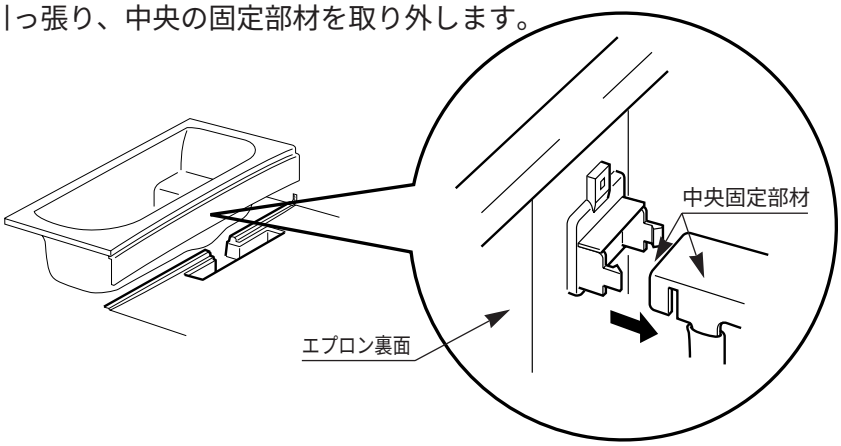
上エプロンは機器や配管関係などに異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身では開けないでください。
※ **漏水や故障の原因**となります。

1 下エプロンを取り外します。（P.39をご参照ください。）

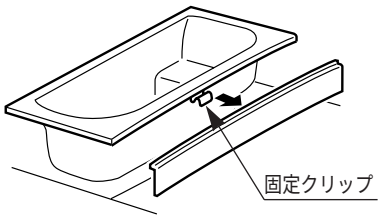
2 上エプロン下に手を入れ、両端の蝶ボルトをゆるめます。



3 エプロン中央部を引っ張り、中央の固定部材を取り外します。



4 上部中央の固定クリップを外し
エプロンを取り外します。



アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に

商品が故障したらP.50の「故障かな？と思ったら」を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店または(株)INAXメンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずご相談ください。
（お問い合わせ先は、P.55をご覧ください）

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。

2.保証と保証期間について

当システムバスルームは、建築会社様への引渡し日より起算して、防水性能は5年間、防水性能以外については2年間を無償修理保証期間と致します。ただし、無償修理保証期間内でも、以下の事項は有料による修理とさせていただきます。

1. 取扱説明書に準拠しない取扱い、日常の維持管理を行わなかったことによるもの。
2. 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などによるもの。
3. 不具合の原因が製品以外にある場合、及びユニットバスルーム工事範囲外に起因するもの。
4. 色あせなどの経年変化または使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の変化。
5. ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因するもの。
6. 火災、落雷、地震などの天変地異、公害、ガス害、塩害などに起因するもの。
7. 消耗品（パッキン、照明電球など）類。
8. 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結によるもの。
9. 指定規格以外の電気を使用したことに起因するもの。
10. ユニットバスルーム工事範囲外の給水・給湯配管からの錆等異物流入に起因するもの。
11. 温泉水・井戸水など水道関連法令に定める飲料用水質基準に適合しない水を給水したことに起因するもの。
12. 樹脂、金属に対して影響を与える洗剤、薬剤を使用したことに起因するもの。
13. アクアジェット・ヒーリングライトをご使用の場合において、浴槽浄化保温機（24時間バス）を使用されたことに起因するもの。

3.修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときはお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証期間内は保証の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

1.おなまえ・おところ・電話番号
2.商品名・品番←P.57の「品番を調べる」参照
3.取付年月日
4.故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)←P.50の「故障かな？と思ったら」参照
5.訪問ご希望日

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの販売店、または(株)INAXメンテナンスに連絡してください。

●お求めの販売店

●(株)INAXメンテナンス

365日受付＆修理

TEL 0120-1794-11
受付時間9：00～22：00

FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

4.部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.定期点検のオススメ（有料）

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより2年たったもの

●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの

定期点検については、(株)INAXメンテナンスまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料（技術料）+出張料+部品代（交換した場合）です。

6.浴室リフレッシュプラン（有料）のご案内

(株)INAXメンテナンスでは、

●浴室内の天井、壁、床、エプロン裏、水栓金具を用途にあった洗剤や研磨剤を使用して磨きあげる「バスルームオールリフレッシュ」

●日頃お手入れの行き届きにくい浴槽裏側の床面清掃を代行する「バスタブ下部洗浄」

などのサービス（有料）をご用意しております。

ぜひ、お気軽にお申し込みください。

お申し込みに関するお問い合わせは、次のフリーダイヤルをご利用ください。

(株)INAXメンテナンス　365日受付＆修理

TEL 0120-1794-11

受付時間9：00～22：00

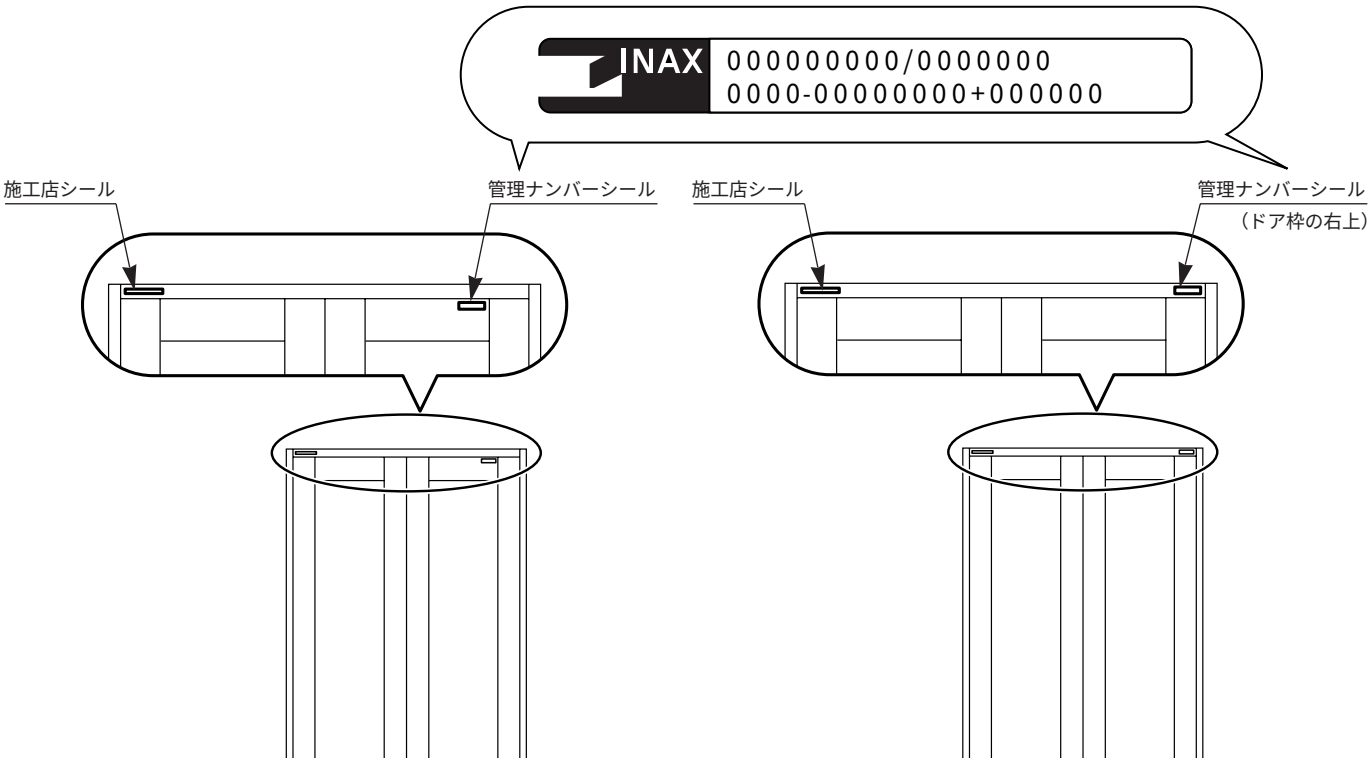
FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

品番を調べる

ドアに貼ってあるシールを見る

浴室内ドア左側上部に貼ってある品番シールで品番をご確認ください。



〈ハイドーム天井の場合〉　〈ハイドーム天井以外の場合〉

廃棄について

廃棄について

イデアトーン、エセンヌ、フェアトーン、ベンチ付浴槽、FRP浴槽を廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。
詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

浴室内に使用している主要部材は、ご覧のとおりです。

部位	種類	材料
床	—	FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）
壁	—	塩化ビニール樹脂金属積層板、石膏ボード
天井	平天井	塩化ビニール樹脂金属積層板、石膏ボード
	ハイドーム天井	ポリスチレン
浴槽	イデアトーン	基材…FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）、アクリル樹脂
	エセンヌ	基材…不飽和ポリエステル樹脂、ガラスフリット、ガラス繊維
	フェアトーン	基材…不飽和ポリエステル樹脂、炭酸カルシウム、ガラス繊維
	ベンチ付	炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維
	FRP	炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維
エプロン	ベンチ付浴槽以外	FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）
	ベンチ付浴槽	ポリスチレン
カウンター	—	ABS

※各部材の処分方法は市町村ごとに異なる場合があります。
　廃棄される際は各市町村にご相談ください。

株式会社INAX

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

（株）INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00

受付時間　平日　　9：00～19：00
　　土日・祝日　10：00～18：00
　　（夏季、年末年始の休みは除く）

FAX 0120-1794-30

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの販売店または
（株）INAXメンテナンス

365日受付＆修理

TEL 0120-1794-11

受付時間9：00～22：00

FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

INAXインターネット･ホームページ･アドレス　http://www.inax.co.jp/

取扱店

GPU-0117(02101)